

# 岩手大学国際教育センター報告 vol. 1 (2020)

# 目次

国際教育センターの設置について	
巻頭言	
国際教育センター(旧グローバル教育センター) 業務報告	
教育業務報告	
日本語教育実施報告 .....	1
課外日本語学習支援報告.....	7
教養教育科目.....	9
アカデミック英語.....	12
短期留学生・日本語日本文化研修留学生個別研究報告.....	13
多言語多文化交流空間 Global Village.....	15
令和2年度新入生オリエンテーション報告.....	18
海外留学支援事業.....	19
IHATOVO グローバルコース・グローバルマイレージ報告.....	25
令和2年度春期集中英語研修.....	27
フィールドスタディ.....	29
地域日本語教育支援事業報告.....	30
岩手県留学生交流推進協議会事業報告.....	32
令和2年度ヤングリーダーズ国際研修.....	35
米国で活躍する理工学部卒業生との懇談会.....	37
日本留学フェア及び外国人学生のための進学説明会等.....	38
岩手大学外国人留学生同窓会事業報告.....	44
岩手大学海外派遣・留学生受入危機管理マニュアルの改訂.....	47
留学生アンケート.....	49
外国の大学との交流.....	50
国際交流支援コーディネータについて.....	55
Iwate University Global Fellow について.....	57
令和2年度交換留学生受入・派遣実績.....	59
訪問海外研修生受入実績.....	60
岩手大学海外派遣・留学プログラム一覧(短期研修・研究型).....	61
岩手大学外国人留学生地域派遣実績一覧.....	64
トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム 岩手大学の採択状況.....	66

新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業等

日本語補講(夏季休暇中)  
国際研修 SCIP: フィリピン(貧困と持続可能な社会)  
国際研修 SCIP: インドネシア(世界遺産と持続可能な社会)  
国際協力・開発援助論、国際講義 Global Studies  
北東北国立3大学合同合宿研修報告  
留学生のための着物体験ワークショップ  
デ・ラ・サール大学(フィリピン)英語研修  
海外研修「カリフォルニア・グローバルプロ研修」  
地域への支援事業(English Camp)  
留学生と市民のガーデンパーティー～世界の屋台村～  
高大連携ウィンターセッション  
地域連携一般公開グローバルセミナー  
令和2年度 岩手大学教員海外派遣事業  
UURR プロジェクト

## 国際教育センターの設置について

国際教育センター長 藪 敏裕

岩手大学国際教育センターは、教育推進機構の改編により令和2年10月に設置されました。急激な人口減少、少子高齢化と、グローバル化の進展により、社会は大きく変化しています。その変化に伴い生じている課題に対応するために、人とモノをつなぎ、知識・情報を共有する Society 5.0 時代への対応力を持った人材の育成が今、大学に課されています。特に、課題先進地域の岩手を国際社会から分断させず、持続可能な社会に転換させる推進力としての人材育成は、岩手大学の大きな使命です。これらの使命を果たすために、迅速な意思決定による国際教育の充実を目指しています。

本センターは、全学の学生を対象とした教育研究基盤施設として、地域の課題にグローバルな視点で取り組み解決するための知識・スキルの向上と意識の涵養を行う学部横断・学年縦断型教育組織です。各学部、研究科単位で実施している教育を補完する言語スキルの育成とともに、社会人基礎力として強く求められる分野横断的な対話力と知識活用力の向上に資する教育を、授業や課外に渡って提供することが、本国際教育センターのミッションです。

この実現のため、本センターでは、グローバル教育カリキュラムマップを構築し、入学時から卒業・終了までの総合的な国際教育を実施します。具体的な取組としては下記の3つの柱を考えています。

### 言語スキル育成プログラムの企画・運営

各学部・大学院の特性に配慮した岩手大学型 CEFR（言語参照基準）を活用した英語教育、日本語教育を中心とした言語スキルの育成およびその環境整備を行います。

### グローバル基礎力育成プログラムの企画・運営

Global Village において多様な国際教養講座や日本人と留学生との接触・交流事業を実施するとともに、IHATOVO グローバルコースに登録された授業等に参加するとグローバルマイレージが付与され、優秀者には海外研修参加費等の奨励費を支給します。

### グローバル対応力育成プログラムの企画・運営

地域課題解決型実践教育や留学支援を行うことにより、専門・年齢・言語・文化等の背景の異なる人と、様々な事象・課題について対話する能力の育成を、学部、学年、日本人学生と留学生など属性の異なる学生間の異文化間接触の機会を作ることにより行う。

学生の皆さんが本センターの活動に積極的に参加し、地域の発展に貢献することができるようになることを希望しています。

本報告書は、令和2年度の国際教育センター(旧グローバル教育センター)の活動を取りまとめたものですが、センター運営に関する忌憚のないご意見と、センターに対する一層のご支援をお願いいたします。

## 日本語教育実施報告

### 1. 概要

グローバル教育センター(現国際教育センター)では、本学の留学生を対象として、1)大学院入学前予備教育日本語研修コース、2)国際教育科目日本語科目、3)教養教育外国語科目日本語科目、の3種、5レベルの日本語教育科目を前後期それぞれ提供している。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、前期はオンライン、後期は原則対面(一部オンラインとのハイブリッド)で実施した。

### 2. 授業内容・担当・受講者数

	(月)	(火)	(木)	(金)
総合(8:50-12:10)	総合(坂本)	総合(松林)	総合(坂本)	総合(松林)
漢字(13:00-14:00)	-	漢字(坂本)	漢字(松林)	-

#### < 国際教育科目日本語科目 >

国際教育科目日本語科目は、交換留学生、大学院生を主たる対象として実施する日本語教育科目である。交換留学生には単位が付与される。また、総合科学研究科の留学生は履修科目中1科目は「アカデミック日本語」として単位が付与される。その他、正規学部生、大学院生は、単位は付与されないが補講として受講可能である。また、岩手県立大学の留学生が受講を希望する場合には科目等履修生として単位を付与する。令和2年度は後期に交換留学生の受け入れが1名になった影響で、履修者は大幅に減少した。

#### 初級日本語 (初修者対象)

科目名	内 容	時 間	担当	交 換	学 部	大学院	その 他	計
文法	初歩的な文法、語彙等の学習。 テキスト:『まるごと A1 りかい』(三修社)	水1	加藤	0	0	0	3	3
				0	0	0		
表記・読解	かな、簡単な漢字の読み、および簡単な文章読解の学習。 テキスト:同上	水2	大高	0	0	0	3	3
				0	0	0	0	0
会話	日常生活で使う挨拶や簡単	木3	佐々木	0	0	0	3	3

	な会話学習。 テキスト:『同上かつどう』			0	0	0	0	0
受講数合計(延べ数)				0	0	0	9	9

\*交換:交換留学生、学部:正規学部生、大学院:総合科学研究科学生、その他:研究生、研究員、他大学学生、家族等

初級日本語 (150 時間程度学習した人対象。日本語能力試験 N4レベル)

科目名	内 容	時 間	担当	交 換	学 部	大学院	その 他	計
文法	初級後半の文法学習。テキスト:『まるごと A2 りかい』(三修社)	月 1・2	大高	0	0	0	3	3
				0	0	0	3	3
漢字	漢字300 字程度学習。テキスト:『にほんごチャレンジかんじ N4/5』(アスク)	木 1	佐々木	0	0	1	3	4
				0	0	1	3	4
会話	日常生活のやや長い会話学習。テキスト:『まるごと A2 かつどう』(三修社)	木 2	佐藤	0	0	0	3	3
				0	0	0	3	3
受講数合計(延べ数)				0	0	2	18	20

中級日本語 (300 時間程度学習した人対象。日本語能力試験 N3レベル)

科目名	内 容	時 間	担当	交 換	学 部	大学院	その 他	計
文法	初級レベルの復習、中級前半レベルの文法学習。テキスト:短期集中初級日本語文法総まとめポイント 20 <sub>1</sub> 、『中級日本語文法整理ポイント 20 <sub>2</sub> 』(アルク)	月 木 1	松岡	2	0	1	5	8
				0	0	0	2	2
会話	日常生活や大学生活に必要な基礎的な会話学習。テキスト:『聞いて覚える話し方 - 日本語生中継初中級 1』(アルク)	月 2	加藤	2	0	0	4	6
				0	0	0	2	2
読解	アカデミック文章読解基礎。テキスト:『大学・大学院留学生の日本語 1 読解編』(アルク)	火 4	佐藤	2	0	0	4	6
				0	0	0	2	2
作文	アカデミック文章作成基礎。『大学・大学院留学生の日本語 1 作文編』(アルク)	火 2	坂本	2	0	0	4	6
				0	0	0	2	2
漢字	中級前半レベルの漢字 300 字程度学習。テキスト:『日本語総まとめ N3 漢字』(アスク)	木 2	松林	2	0	0	0	2
				0	0	0	1	1
受講数合計(延べ数)				8	0	1	26	35

中級日本語 (450 時間程度学習した人対象。日本語能力試験 N2 レベル)

会話	大学生生活で使うやや高度な日本語の会話学習。テキスト:『聞いて覚える話し方日本語生中継中上級編』(くろしお出版)	月 1	加藤	4	0	0	6	10
				1	0	0	6	7
読解	やや高度なアカデミックな文章の読解学習。テキスト:『留学生のための読解トレーニング』(凡人社)	金 3	佐々木	5	0	2	7	14
				1	0	1	1	3
文法	日本語能力試験 N2 程度の文法学習。テキスト:『中級日本語文法整理ポイント 20』(スリーエーネットワーク)	水 2	加藤	5	0	0	9	14
				1	0	1	3	5
作文	やや高度な文章作成方法学習。テキスト:ハンドアウト	火 3	加藤	4	0	0	5	9
				1	0	1	2	4
漢字	大学の学習、研究に役立つ漢字・語彙学習。テキスト:『日本語総まとめ N2 漢字』(アスク)	水 3	大高	7	0	0	2	9
				0	0	1	1	2
アカデミック 日本語	日本語能力試験 N2 対策。テキスト:『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニング N2』(アルク)	木 4	松林	5	0	2	6	13
				1	0	1	5	7
受講数合計(延べ数)				35	0	9	53	97

上級日本語 (600 時間程度学習した人対象。日本語能力試験 N1 レベル以上)

科目名	内 容	時 間	担当	交 換	学 部	大学院	そ の 他	計
ビジネス 日本語	仕事で使う日本語表現学習。テキスト:『日本企業への就職 - ビジネスマナーと基本のことば』(アスク)	月 3	坂本	3	0	0	3	6
				0	0	0	1	1
アカデミック 日本語	日本語能力試験 N1 対策学習。Tekisu テキスト:『耳から覚える日本語能力試験文法トレーニング N1』(アルク)	金 4	坂本	2	0	1	5	8
				0	0	2	8	10
受講数合計(延べ数)				5	0	3	17	25

< 教養教育 外国語科目 > (600 時間程度学習した人対象。日本語能力試験 N1 レベル以上)

教養教育科目として、上級日本語の授業を実施する。主たる履修対象者は学部正規留学生である。交換留学生、大学院生修士課程の学生が履修した場合にも単位を付与する。



上級日本語 A・E 口頭表現	前期は討論および発表能力、後期は状況による使い分けに焦点を当て、口頭表現能力を養成する。テキスト:ハンドアウト	月 4	松岡	4	5	2	4	15
				0	5	0	1	6
上級日本語 B・F 論文作成	大学の学習、研究に必要なレポート、論文作成学習。テキスト:大学・大学院留学生の日本語4論文作成編(アルク)	水 4	加藤	2	0	0	2	4
				0	3	0	2	5
上級日本語 C・G 文系	前期は、文系分野で使われる基礎的な語彙力、後期は文系の専門分野別日本語表現学習。テキスト:ハンドアウト	木 3	大野	1	0	0	2	3
				0	2	0	2	4
上級日本語 C・G 理系	実験、レポート等、理系分野で使われる専門基礎用語、表現力学習。テキスト:ハンドアウト	金 1	大高	0	4	1	2	7
				1	3	1	0	5
上級日本語 D・H 読解	授業、研究、日常生活で接触する文字情報の読解力学習。テキスト:大学・大学院留学生の日本語3論文読解編(アルク)	金 2	D 菊池 H 大高	1	1	0	2	4
				0	0	0	1	1
受講数合計(延べ数)				9	23	4	18	54

\* 時間数は各学期分。A,B,C,D は前期、E,F,G,H は後期開講科目。

\* 農、理工学部正規留学生日本語履修者は上級日本語C, G(理系)が必修。

### 3. 成果と課題

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前期はリモート授業で5月連休明けの授業開始となった。教員、受講者双方でリモート授業に不慣れなため、試行錯誤での進行となったが、学習成果は認められた。後期は、対面とリモートのハイブリッド形式の授業がいくつかあった。リモート授業の場合、通信環境等に左右されることがあるため、環境整備が課題となった。次年度以降もこのような対応が求められることが予想されるため、講師研修、情報交換を各学期末に実施し、対応を図った。

(報告:松岡洋子)

## 課外日本語学習支援報告

学習者の個別ニーズに対応するため、日本語教育を学ぶ学生による日本語チューター活動を実施した。また、日本語カフェを実施し、日本人学生とのコミュニケーションの機会を作った。

### 1. 実施概要

#### 留学生個別日本語学習支援

授業以外に個別学習を希望する留学生、および指導教員から日本語指導の要望があった留学生に対し、教育学部2名、人文社会科学部1名、理工学部1名、総合科学研究科1名の学生による個別学習支援を行った。支援内容は、日本語授業での課題支援、日本語による発表準備、修士論文作成支援、日本語能力試験対策支援等である。

実施時期：前期 7月、後期 10～1月

対象：大学院生2名、研究生2名

#### 日本語カフェ

毎週火曜、木曜の昼休みにグローバルビレッジにおいて実施した。日本語学習を希望する留学生や日本語での交流を希望する留学生と日本人学生が参加し、グローバルビレッジのスタッフと日本語チューターが運営を担当した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前期は全面オンラインで実施した。後期は、交換留学生の入国制限のため渡日できなかったことから、交換留学生はオンラインで本学の学生と交流をした(実施回数、参加者数は、「7. 多言語多文化交流空間 Iwate University Global Village」参照)。

### 2. 効果と課題

個別学習支援については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、留学生が減少したが、在学学生に対しては、一定の支援ができた。ただし、修士論文の添削、あるいは大学院生の研究発表の日本語支援については、支援する学生に専門知識が求められることもあり、内容の支援までは困難であることが課題となった。

日本語カフェについては、前期はオンライン、後期は対面、オンラインのハイブリッド形式での開催となったが、新たな形態での交流が可能となった。課題としては、海外学生の参加の場

合の時差の問題、ハイブリッドでの進行方法、内容設定など、工夫が求められる。次年度以降もこのような状況が続く可能性があり、多様な話題、進行方法について検討を進めたい。

(報告:松岡洋子)

## 教養教育科目

### 多文化コミュニケーション A・B

日本人学生、外国人留学生共修科目である多文化コミュニケーションA(前期)、多文化コミュニケーションB(後期)では、多文化社会におけるコミュニケーション課題をトピックとして取り上げ、討論、共同作業を通じた実践的な授業を行った。授業は、グローバル教育センター(国際教育センター)専任教員2名(松岡・尾中)が担当した。

前期(多文化コミュニケーション A)は学部2年次および交換留学生が主たる受講者である。例年、二戸市教育委員会主催の中学生異文化交流事業と合同合宿を実施してきたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今年度は留学生の出身国、岩手大学をテーマとしたクイズ動画を授業中に作成し、中学生から感想を得るという事業にとどまった。後期(多文化コミュニケーション B)は学部1年次および交換留学生が主たる受講者で、今年度は岩手大学単独で合宿研修(岩手山青少年交流の家)も組み込み授業を実施した。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、留学生の入国制限があり、特に後期には履修対象留学生が激減した。そのため、留学生と日本人学生のバランスが取れない状態での授業となったが、共修科目として、相互接触の機会となり、授業目的は達成された。

### 1 日本事情 A・B

今年度は、教員の異動により、退職教員(大野眞男名誉教授)が非常勤講師として授業を担当した。前期は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、オンデマンド授業となった。教科書は『クローズアップ日本事情 15 日本語で学ぶ社会と文化』(The Japan Times)を使用し、教科書の内容に沿った課題の提出が課された。後期は履修者がいなかったため開講しなかった。

\* 以上のように、留学生が履修対象となる授業については、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により履修対象者が激減した。次年度以降、この状況が続く場合、海外在住の学生も受講可能な形態での授業を構築する必要性が明らかになった。

(報告:松岡洋子)

## 2 現代の諸問題

前期の副題は「教育とグローバル化」で、42人の履修者がいた。全員1年生で5月連休直後からの新年度は新型コロナウイルス感染症対応で全面的にオンライン実施であったため、オンラインやPC操作が不慣れな学生対象に入念なオリエンテーションと操作練習を実施した。ネット環境が十分でない学生も多く、ゲストを招いての講話も、対面の可能性を探り様子を見ながらの対応となり、ゲストも担当教員双方が不慣れな状況でなんとか終了した。

後期の副題は「英語討論入門」である。対面での開講で6名の正規生と1名の中国人留学生の聴講があった。通常は交換留学生とチームを組んで賛成と反対に分かれてトピックについて意見発表を行ってアクティブラーニング形式で実施していたが、今回は新型コロナウイルス感染症のため、交換留学生の受け入れがほぼゼロとなったため、急遽台湾とアイスランドの日本語学習者との交流活動として、Flipgridを使用して行った。各国のコロナ対応について生の声を聴き、日本で発表する意見へのコメントをもらうという構成に変更して実施した。

(報告:尾中夏美)

## 3 課題発展型演習

履修生1名だった。この授業では、トビタテ留学 Japan の申請用紙を使って、わかりやすい申請書を作成するという作業を通して、アイデアを具体的に表現する手法や今後様々な場面で作成することになる「申請書」はどのように書けばよいかをゼミ方式で習得させた。

(報告:尾中夏美)

## 4 英語コミュニケーション

In the 1st semester I ran an English Communication 1 class for first year students. In the second semester of the year, I did another English Communication 1 class, but I also did an English Communication 3 class for second year veterinary students.

English Communication 1 consisted of 38 students in the first semester and 29 students in the second semester. Both classes consisted of Agriculture and Science/Engineering students, and were taught in the same active learning style. Students were asked to do listening tasks and conversations in the classroom. As homework the students had to make

and reply to Flipgrid videos based on 1) self-introductions, 2) someone they admire, 3) describing survey results, and 4) explaining a 4-step process.

English Communication 3 consisted of 34 students. This class was similar to English Communication 1 in that the students had an active learning classroom with Flipgrid videos. In the classroom there was more emphasis on presentations, which was greatly aided because the class was taught in a computer room. Each week students had to give a mini speech to their groups and then to the class.

(報告:ピーターセン ジェイコブ)

## アカデミック英語

### 1. アカデミック英語(B1)の実施について

アカデミック英語(B1)は、大学院生を対象として、入学時に実施する CASEC を用いた事前  
プレースメントテストで一定以上のスコアを得た、CEFR 基準で B1 レベルと判定された学生に  
提供している。前期は Listening & Speaking、後期は Reading & Writing を中心とした授業を実  
施している。授業はすべて英語のみの Direct Method である。

今年度は前期が新型コロナウイルス感染症への対応として前期はオンライン授業実施となったため、  
ZOOM を使用してポスター発表やディスカッションなどを実施した。後期は対面で実施した。

### 2. 使用テキスト

前期: Unlock: Listening & Speaking 3 (1st edition) by Cambridge University Press

後期: Unlock: Reading & Writing 3 (1st edition) by Cambridge University Press

### 3. 受講者

前期: 5 名 (内モンゴル人留学生 1 名)

後期: 2 名 (内インド人留学生 1 名)

(報告:尾中夏美)

## 短期留学生・日本語日本文化研修留学生個別研究報告

### 1. 概要

交換留学文系コースおよび日本語日本文化研修留学生に対する必修科目として「個別研究」を課している。専任教員2名の指導・助言の元、それぞれのテーマで研究し、発表(オンライン)を行った。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、後期は履修対象学生がいなかった。

### 2. 研究テーマ

前期履修学生の研究テーマは以下の通りである。

前期 (発表:2020年8月上旬に Web オンデマンドで実施)	
所属	研究課題
韓国・群山大学	新型肺炎コロナウイルス対策に関する日韓台の国際比較
フランス・ボルドー・モンテーニュ大学	フランスと日本の捨てられるペットの比較
フランス・ボルドー・モンテーニュ大学	日本で見られるフランス語の間違い
タイ・サイアム大学	若者に人気のあるコンビニ
タイ・サイアム大学	泰日ことわざを通じた食文化の比較
中国・西北大学	日中大学生の就職観と就職指導の比較
中国・寧波大学	「寧波の乱」の舞台の境清興法寺に関する一考察
アイスランド大学	アイスランドと日本の地熱エネルギーの比較
タイ・パンヤピワット経営大学	タイ人と盛岡三大麺
日本語日本文化研究留学生 (インドネシア)	ジャワ語と東北方言の敬語表現の比較
日本語日本文化研究留学生(中国)	日中のことわざ比較



### 3. 現状と今後の展開

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、昨年度後期に入学した交換留学生および日本語日本文化研修留学生11名が履修し、オンラインでオンデマンド形式での研究成果発表を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、有効な対応であった。今期は、学内限定で公開を行ったが、今後、学生たちの所属大学にも視聴の呼びかけを行うことを検討したい。

(報告:松岡洋子)

# 多言語多文化交流空間 Global Village

## 1. 全体の総括

今年5年目となった多言語多文化交流空間 Iwate University Global Village(以下グローバルビレッジ)は、 グローカルイベント(国際交流・異文化理解・地域理解)、 日本語カフェ(日本語で留学生と会話、交流)、 All in English(英語での交流会)を実施した。参加者数と活動回数は新型コロナウイルスの影響でともに減少した。全学部からの参加者数がのべ 1752名となった(表1)。(参加者別の割合は図1参照)。キャンパスのグローバル化に資する国際交流・国際共修の場を構築している。

表1 2020年度グローバルビレッジ活動開催回数と参加者数

	グローカルイベント	日本語カフェ	All in English	合計
開催回数	101	31	47	179回
参加者総数	932	317	503	1752名
内留学生総数	31	91	21	143名
内日本人学生総数	797	226	421	1444名
内院生数	2	0	0	2名
内一般参加者総数	102	0	61	163名

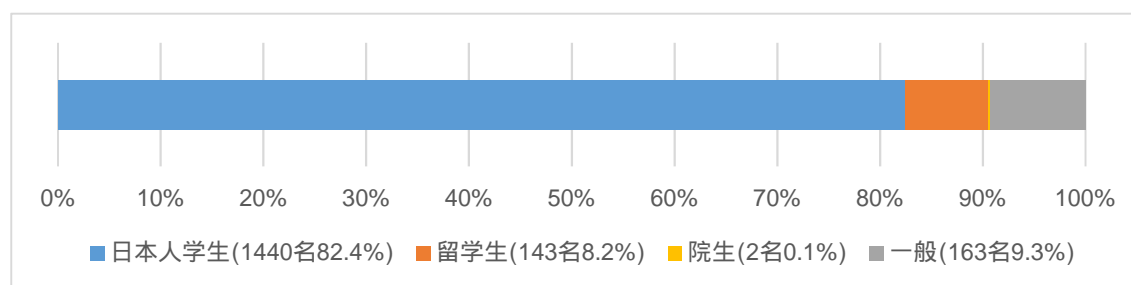


図1 グローバルビレッジ参加者割合

## 2. グローカルイベント

今年度は101のイベント(前期42回、後期59回)を実施した(参考資料: グローカルイベントの活動一覧参照)。

イベント内容は、英語力向上を目的とした複数回の講座や国際教養を深めるためのセミナー、日本文化を伝える生け花ワークショップなど多岐に及ぶ。新型コロナウイルスの影響でイベント実施回数自体は減少したものの、一部をオンライン開催するなどの対策がなされた。

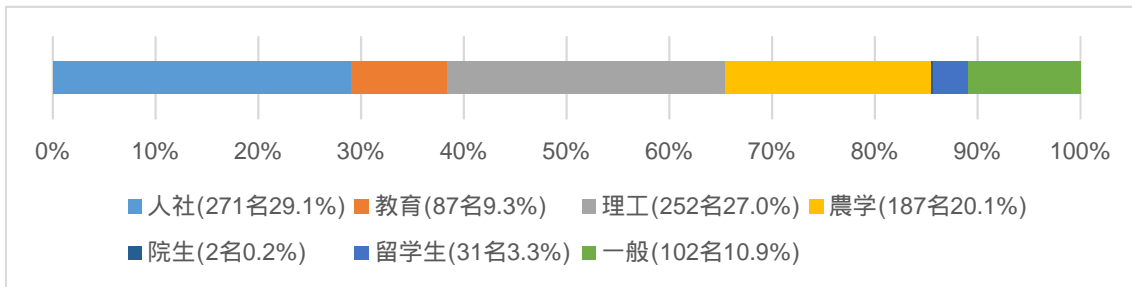


図2 グローバルビレッジイベント参加所属別割合

### 3. 日本語カフェ

留学生と日本人学生が集い、日本語で交流するという趣旨の本事業は、今年度 31 回行われ、参加者はのべ 317 名であった（図3）。

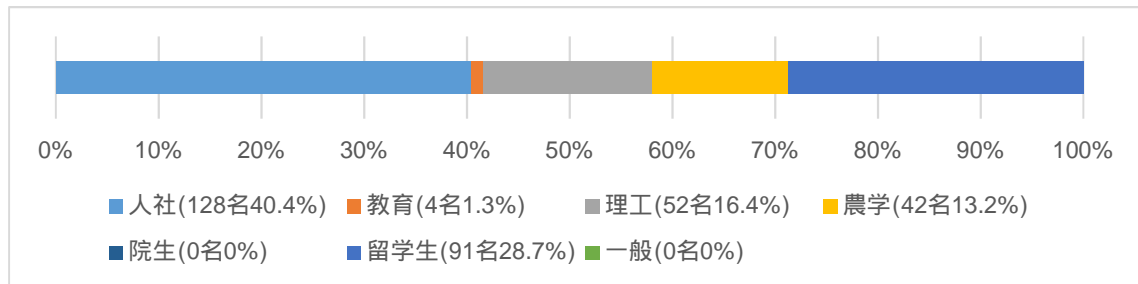


図3 日本語カフェ参加者所属別割合

### 4. All in English

英語のコミュニケーション能力の向上を目的としたAll in Englishは前、後期合わせて47回開催され、全体でのべ503人が参加した。（図5）感染予防のためオンラインでの実施が主であったが、一つのイベントとしてGV全体の3割近くもの参加者を占めたことは特筆すべき点である。

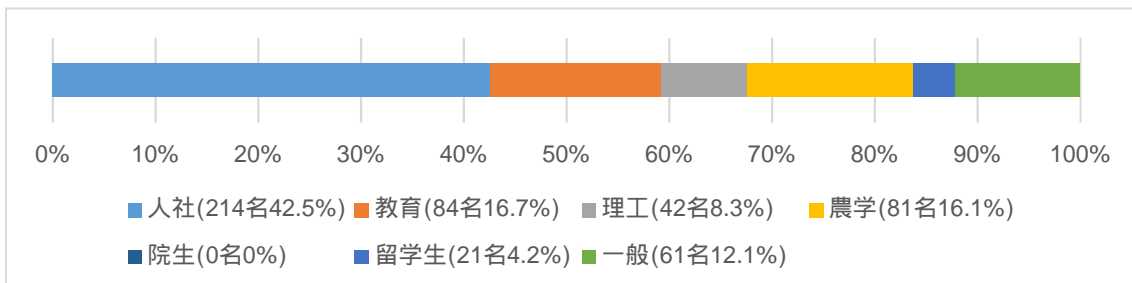


図4 英語関係イベント参加者所属別割合

## 5.まとめ

新型コロナウイルス感染症拡大によりイベント実施が難しい状況下、感染対策を徹底しながら、対面、ハイブリッド、オンラインで実施してきた。また、昨年度までの基盤と学生スタッフの育成の効果が発揮され、グローバルビレッジは本学学生の自主的な国際教育の場となった。

参考資料 グローカルイベント活動一覧

日時	企画名
前 期	
5/18～25 6/3～24	GV 説明会
5/28	国際機関で働きたい人のためのキャリアガイダンス
6/1～7/15	英語 de 教養講座 全10回
6/3～6/24	要約力養成講座 全4回
6/5～6/26	語感力養成講座 全4回
6/23～9/14	今こそ世界とつながろう！世界の人々の暮らしと仕事を知る セミナー 全4回
6/25	やり直しができる社会の実現へ向けて-ひきこもり・若者支援 の取り組み-
7/2～7/30	英語話し方講座 全5回
7/6～7/24	海外体験談を聞いてみよう！ 全4回
7/7	オンライン七夕まつり
7/7～7/28	うちで踊ろう！さんさ 全4回
8/6	やりたいことをやり抜いた先にみえたもの-フィリピンのスラム で暮らした経験から-
後 期	
11/24	Jacob's room
12/2～2021/3/19	English Study Room 全12回
12/8～2021/3/31	生け花ワークショップ 全7回
2021/1/12～19	英語でふるさと紹介 全2回

(報告：国際課)

## 令和2年度新入生オリエンテーション報告

### 実施したオリエンテーション等

#### ・留学生オリエンテーション

令和2年度前期は新型コロナウイルス感染症対策のため対面での実施は避け、代替措置として岩手大学国際交流ホームページに資料を掲載し、岩手大学国際交流公式 YouTube チャンネルに資料を説明する動画をアップロードし、各自所定の期間に視聴することとした。説明動画は、日本語、英語及び中国語の3か国語で制作した。対象者は15名であった。

後期は令和2年9月29日(金)、銀河ホールを会場に例年通り対面で国際課及び保健管理センターから、新入生に必要な手続き及び日本での生活や履修登録等について説明を行った。コロナ感染状況を踏まえて、外部からの参加は避けることとし、盛岡東警察署からの生活上の注意点に関する説明資料配布のみとした。説明は国際教育センター及び国際課教職員が英語及び中国語の同時通訳を行った。対象者は11名であった。

#### ・チューターオリエンテーション

例年であれば日時と会場を設定し、留学生チューターを行う学生に対して、制度の概要説明、注意事項及び手続きについて説明を行っているが、令和2年度は前期・後期ともに新型コロナウイルス感染症対策及び新規外国人留学生が少ないことを勘案し、メールによる資料配布のみとした。

上記2点のオリエンテーションに加え、例年キャンパスツアー及びライブラリーツアーを実施し、岩手大学キャンパス内の各施設の位置確認や利用方法の解説を行っているが、令和2年度は実施を見送った。交換留学生対象のオリエンテーション及び開講式は対象者が前期に1名であったため実施しなかった。

(報告:国際課)

## 海外留学支援事業

海外の大学との学生交流や様々な海外研修プログラムについての情報提供の場として以下の事業を実施した。

### 1. ICT

Our department manages and maintains the ICT platform of Moodle. In September of 2020 we upgraded from version 3.5 to version 3.7. The process went smoothly with no issues.

Due to COVID-19, we had all classes taught online the first semester. Because of online classes we ran training sessions for the part-time English teachers. We ran two 1-hour sessions online using Zoom to help the teachers prepare for being only online. At the start of the second semester, many teachers continued to use Moodle even though we went back to face-to-face classes.

Currently Moodle is mostly used for English classes. Every year we enroll 1st year students into the system, which last year was 1,447 students. We have 317 courses, which is a combination of active courses, test courses, repositories, or other special situations. There are 7,408 users enrolled in Moodle. There are more users than students on campus because we delete users after 7 years, there are repeat users (undergrad and graduate), and we also teacher accounts.

(報告:ピーターセン ジェイコブ)

### 2. 個別留学相談

個別留学相談は学生それぞれの異なる空き時間に個別対応するため、不定期に実施している。相談受付のポスターは常時掲示しているので、希望者は国際課に来所するか直接メールで相談時間を予約する。新型コロナウイルス感染症対策のため、海外派遣プログラムが全国的に停止したため、令和2年度はのべ 21 件と留学相談件数は大幅に減少した。英語の学習相談が 3 件、一般の留学相談が 13 件、トビタテ！留学 Japan の対応策等相談は派遣停止に伴い延べ 5 件であった。

表1.所属別相談者数

学部	人文学部	教育学部	理工学部	農学部
学部生	8人	2人	7人	3人
院生	0	0	1人	0

### 3. Super English, Step-up English, Foundation of English

留学や海外研修を目指す学生の英語基礎トレーニングコースとしてステップ・アップ・イングリッシュを実施し、またこのコース修了者で一定レベルに達した学生対象に、TOEFLiBT®で交換留学が可能となるレベルに到達させることを目標とする Super English を実施している。1学期 11 週間開講し、英語力で一定条件を満たす学生が Step-up English を履修できる。

表2.受講者数(内数で院生)

		令和2年度前期					令和2年度後期				
SUE	所属 学部	人社	教育	理工学	農学	合計	人社	教育	理工学	農学	合計
	人数	6	1(1)	1(1)	0	8	2	0	0	3(1)	5
SE	所属 学部	人社	教育	理工学	農学	合計	人社	教育	理工学	農学	合計
	人数	1	2	0	1	4	7	0	0	2(1)	9

(報告:尾中夏美)

### 4. Foundation of English

In the first semester of R2 we had Foundation of English online. During that time, we had 10 students partaking. During the second semester we had session face to face and new students join increasing the numbers to 20. I also ran a special type of Foundation of English specifically focused on students planning to study abroad. This session had 7 students, but it decreased to 6 because one student dropped out of the study abroad program.

The faculty breakdown for Foundation of English:

- Education 2
- Humanities 11

- Science & Engineering 2
- Agriculture 5

The faculty breakdown for study abroad Foundation of English:

- Education 0
- Humanities 7
- Science & Engineering 0
- Agriculture 0

(報告:ピーターセン ジェイコブ)

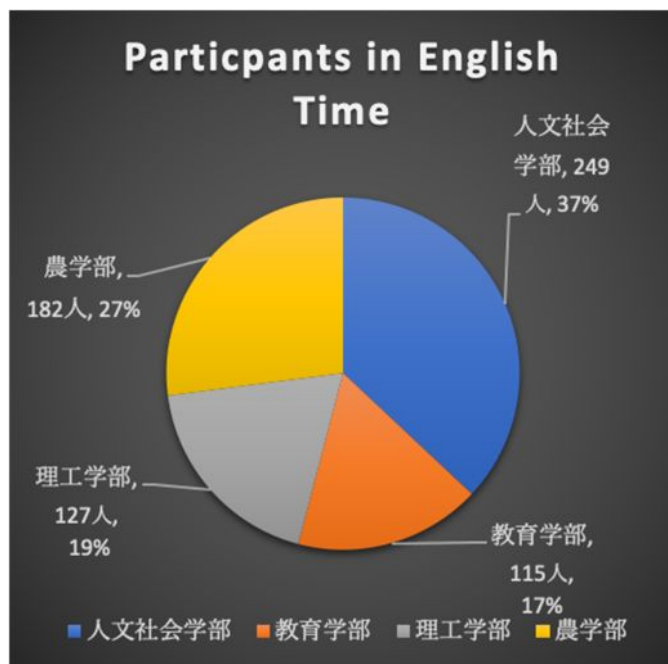
## 5 . English Time

令和2年度前期は下記の日程で、全169回(462コマ)行われ、参加者数は延べ673人である。

開催月	開催日
4月	1日(2回),2日(2回),3日(2回),7日,8日(2回),9日(3回),10日(2回),14日(2回),15日(2回),16日(3回),17日(2回),21日(2回),22日(2回),23日(3回),24日,28日(2回),29日(3回)
5月	1日(2回),7日(3回),8日(2回),12日,13日(2回),14日(2回),15日(2回),19日(2回),20日(2回),21日(3回),22日(2回),26日(2回),27日(2回),28日(3回),29日(2回)
6月	2日(2回),3日(2回),4日(3回),5日(2回),9日(2回),10日(2回),11日(2回),12日(2回),16日(2回),17日(2回),18日(3回),19日(2回),23日(2回),24日(2回),25日(3回),26日(2回),30日(2回)
7月	1日(2回),2日(2回),3日(1回),7日(2回),8日(2回),9日(3回),10日(2回),14日,15日,16日(3回),17日(2回),21日(3回),22日,23日(3回),24日,28日,29日,30日(3回),31日
10月	1日(4回),2日(5回),5日(4回),6日(4回),7日(4回),8日(6回),9日(6回),12日(1回),13日(4回),14日(3回),15日(4回),16日(8回),19日(4回),20日(4回),21日(3回),22日(7回),23日(5回),26日(3回),27日(4回),29日(7回),30日(6回)
11月	2日(3回),4日(2回),5日(3回),6日(2回),9日(2回),10日(2回),11日(2回),12日(2回),13日(2回),16日(2回),17日(3回),19日(2回),20日(2回),23日(2回),24日(3回),25日(2回),26日(2回),27日(2回),30日(2回)
12月	1日(3回),2日(3回),3日(7回),4日(6回),7日(3回),8日(3回),9日(3回),10日(7回),11日(8回),14日(3回),15日(3回),16日(4回),17日(8回),18日(7回),21日(4回),22日(4回),23日(3回)
1月	6日(2回),7日(5回),8日(8回),13日(4回),14日(6回),18日(4回),19日(3回),20日(2回),21日(4回),22日(8回),25日(2回),26日(3回),27日(3回),28日(4回),



	English Time
開催回数	169
参加者総数	673
内留学生総数 (交換留学生数)	28 0
内日本人学生 総数	645
人文社会学部	249
教育学部	115
理工学部	127
農学部	182



(報告:ピーターセン ジェイコブ)

## 6. 国際月間

### 1.1 概要

岩手大学では、本学の学生・教職員及び一般市民に対し、国際理解力の増進と国際交流への関心度を向上させ、各事業の波及効果の上昇を図ることを目的に、毎年秋に「岩手大学国際月間-Iwate University International Month-」を開催している。

令和2年度は 11月2日(月)～11月30日(月)を期間に定め、海外協定校向け岩手大学IU-SEP オンライン説明会並びに海外派遣プログラム等に参加した学生の体験談発表展示やオンラインによる報告会等、様々なイベントを集中的に開催した。

### 1.2 実施行事一覧

#### (1)岩手大学 海外留学(派遣)説明会(ZOOM)

日 時:令和2年11月6日(月) 16:50～18:00

会 場:グローバルビレッジ又はZoom

参加者:10名

(2) Lighthouse 主催 Japanese College Fair ONLINE アメリカ向け日本大学進学説明会

日 時: 令和2年11月5日(木) 11:00～13:00 (英語),  
11月26日(木) 11:00～13:00 (日本語)

会 場: オンライン

参加者: 約 368 名(11月5日) 約 195 名(11月26日)

(3) 米国大手 IT 企業で活躍する理工学部卒業生との懇談会

日 時: 令和2年11月17日(火) 17:00～18:00

会 場: 理工学部第一会議室

参加者: 27 名

(4) IELTS オンライン説明会

日 時: 令和2年11月19日(木) 12:15～13:00

会 場: グローバルビレッジ又は Zoom

参加者: 約 5 名

(5) 英語スピーチコンテスト(Trial 版)

日 時: 令和2年11月27日(金) 16:50～18:30

会 場: 学生センターB 棟多目的室

出場者: 7 名

(6) 海外協定校向け岩手大学 IU-SEP オンライン説明会

日 時: 令和2年11月30日(月) 13:00～14:30

会 場: オンライン

対象者: 学生交流協定覚書を締結している海外大学学生、教職員等

(7) 国際×Health ウォーキングで世界一周を目指そう！2020

日 時: 令和2年11月2日(月)～11月30日(月)

出場者: 30 名

(8) 海外派遣・国際交流プログラム参加体験展示

日 時: 令和2年11月2日(月)～11月30日(月)

会 場: 学生センターB棟フリースペース

展示者: 12名

(9) オンデマンド型海外留学体験報告会

日 時: 令和2年11月2日(月)～公開中

方 法: 岩手大学国際交流公式 YouTube チャンネル掲載

掲載数: 13本

(10) オンデマンド型教職員語学研修成果報告会

日 時: 令和2年11月2日(月)～公開中

方 法: 岩手大学国際交流公式 YouTube チャンネル掲載

対 象: English Time 受講者, Chinese Time 受講者

(11) オンデマンド型海外留学経験卒業生と留学希望学生とのオンライントーク

日 時: 令和3年1月8日(金) 9:00～10:00 事後イベントとして開催

方 法: イベント後に動画を岩手大学国際交流公式 YouTube チャンネル掲載

1.3 岩手大学国際交流 YouTube 国際月間再生リスト

<https://bit.ly/2ULkdQ2>



(報告: 国際課)

# IHATOVO グローバルコース・グローバルマイレージ報告

## 1. 概要

グローバル教育センターでは、岩手に顕在化するグローバルな課題を理解し、解決に貢献し、発信する力の養成をめざし、「IHATOVO グローバルコース」を企画・運営している。このコースの参加によって「知識・探求力」、「コミュニケーション力」、「人間力」を向上させ、地域社会、国際社会で活躍する人材を育成する。

## 2. コースのコンセプトと構成

コースは、A. 外国語、B. コミュニケーション、C. 国際教養、D. 実践の4つのカテゴリーに分類された、授業および課外活動で構成されている。各授業、活動に参加すると、Global Mileage が付与される。A～Dのすべてのカテゴリーのいずれかの授業、課外活動に1つ以上受講・参加し、一定程度の Global Mileage を獲得した者には IHATOVO グローバルコース履修認定証を授与する(ゴールド達成 2000 マイル以上、シルバー達成 1200 マイル以上、ブロンズ達成 800 マイル以上獲得)。

## 3. 実施状況

令和2年度は、活動の増加およびカテゴリー整理を行った。また、グローバルビレッジの活動に対しても積極的にマイル付与を行うなど、マイレージ取得対象授業と活動を拡大した。新型コロナウイルス感染拡大状況であったが、マイレージ取得学生が全学部学生(4634名)の50.1%となった。また、各学部別のマイレージ取得状況は以下の通りである。

<認定証対象者> (平成28年度からの積算数)

	人文社会科学部	教育学部	理工学部	農学部	計
Gold	10	2	2	2	16
Silver	3	3	2	4	12
Bronze	3	3	1	4	11
計	16	8	5	10	39

#### 4.表彰

グローバルマイレージ最上位のゴールドに認定された学生には、学長からの認定書授与と海外研修参加費や外国語検定試験に係る検定料等の補助として岩手大学イーハトーヴ基金から奨学金が支給された。令和2年度は、6月29日に、9名の学生がゴールド認定証を授与された。小川学長から、「語学、専門だけでなくプラス1(日本のこと、芸術のこと、クラブのこと等得意な分野)を身につけて欲しい、そして、将来みなさんと海外で再会したい」と激励があった。

(報告:松岡・国際課)

## 令和2年度春期集中英語研修 Spring Intensive English Course

Due to COVID-19 all study abroad opportunities were canceled. It was decided to run a short-term (1 week) intensive English course.

The course size was capped at 20 participants with a first come first serve sign up method, we had 29 applicants. Even though we insisted on students only signing up if they can attend and that they must cancel ahead of time so other students can join in their place, 2 students did not attend. Therefore, we had a total of 18 students due to the fact that the session started, and two students were not there, this didn't allow time for the 9 other students waiting for a slot to join. The student breakdown is as follows:

- Humanities 6 students
- Education 5 students
- Engineering 4 students
- Agriculture 3 students

Each day was broken up sections taught by native teachers. The schedule followed this format:

Time	Course	Teacher	Location
8:30 am - 9:30 am	Speaking	Akasaka	GB21
9:45 am - 10:45 am	Reading	Higuchi	GB21
11:00 am - 12:00 pm	Writing	Higuchi	GB21
12:00 pm - 1:00 pm	LUNCH	LUNCH	LUNCH
1:00 pm - 2:00 pm	Listening	Newbury	GB21
2:15 pm - 4:00 pm	Study/Help	Onaka & Petersen	Global Village & GB21

Before and after the week we had the students take a CASEC test to gauge their English level. 12 out of the 18 students saw improvement of their scores with an average of 23 points.

It appears that this class was successful and many of the students enjoyed attending. There have been requests to do it again yearly or twice a year.

(報告:ピーターセン ジェイコブ)

## フィールドスタディ

### 1. フィールドツアー「日本三景松島日帰り」

岩手大学留学生を対象に東北地域の観光地・文化施設等への訪問を通して、留学生相互の交流促進と東北地域の風土・歴史・文化への理解を深めることを目的とし実施している。平成 30 年度に青森県の十和田市、平成 31 年度は秋田県の角館へのフィールドツアーを実施しており、令和 2 年度は宮城県の松島を選定し、令和 2 年 11 月 20 日に執り行った。大型バス 2 台をチャーターし二人席に一人ずつ配置し、消毒液を一人に一つ持参させる等、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して実施した。参加した 41 名は五大堂や瑞巖寺の見学、こけし絵付け体験、遊覧船乗車を楽しんでいた。参加者からは「久しぶりに友人と楽しい時間を過ごせた」「自然の中でリラックスできた」といった感想が聞かれた。

### 2. フィールドスタディ「スキー・スノーボード in 岩手」

本事業は岩手大学に学ぶ外国人留学生が、母国でほとんど経験することがないスキーまたはスノーボードを通じて、雪国である岩手の冬に親しむことを目的に実施している。フィールドスタディ「スキー・スノーボード in 岩手」を 2 回実施した。1 回目は令和 3 年 1 月 15 日(金)に八幡平リゾートパノラマスキー場で実施し、30 名が参加した。2 回目は 2 月 15 日(月)に安比高原スキー場で実施し、28 名が参加した。

### 3. フィールドスタディ in Iwate(企業訪問)

「フィールドスタディ in Iwate(企業訪問)」は、いわてグローバル人材育成推進協議会の主催、岩手大学の共催で年 2 回実施している。令和 3 年 2 月 17 日(水)開催のアイシン東北(株)には留学生 9 名(岩手大学 5 名、岩手県立大学 1 名、盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 3 名)が参加し、世界自動車産業を支える総合自動車部品メーカーの工場を見学した。また、令和 3 年 2 月 19 日(金)開催の盛岡セイコー工業(株)には留学生 8 名(岩手大学 4 名、岩手県立大学 1 名、盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 3 名)と JET プログラム参加者 2 名が参加し、世界最高水準の高級メカニカルウォッチの製造過程を見学した。留学生にとって、今回の企業訪問は岩手県内にある技術力最先端の企業について理解を深める機会となった。

(報告:国際課)



## 地域日本語教育支援事業報告

### 1. 事業の趣旨および概要

外国出身の住民が増加する地域社会の日本語課題解決の一助とすることを目的として、地域日本語教育支援事業を平成 17 年度から継続実施している。例年、成人および子どもの日本語学習支援に関する情報交換、研修および子どもの交流事業等を実施しているが、今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、従来実施されてきた事業が中止され、外国人児童生徒等学習支援に関する協議会および、遠隔個別学習支援の実施にとどまった。

### 2. 事業内容

#### 2.1 子どもの学習支援事業

いわて多文化子どもの学習支援連絡協議会総会

日 時:令和2年7月9日(木)10時30分～12時

場 所:岩手大学学生センターB棟1多目的室

参加者:岩手県教育委員会 小野寺哲夫・高橋健

盛岡市教育委員会 山内 浩

二戸市教育委員会 長畑 宏範

岩手県国際交流協会 大山 美和・森屋静香

いわて多文化子どもの教室むつみっこくらぶ 村井 好子

岩手大学グローバル教育センター長 藪 敏弘(議長)

岩手大学グローバル教育センター 松岡 洋子

岩手大学国際課長 清水千香子(事務局)

資料提供:一関市教育委員会、ゆうの会(一関)

#### < 協議内容 >

令和元年度事業報告および令和2年度計画を承認後、各地域教育委員会および民間支援団体からの活動報告を経て情報交換を行った。各地に日本語指導が必要な児童生徒が散在する岩手の場合、各学校で個別に対応しているのが現状で、体制が整えにくい。二戸市では今年度から指導者の謝金を予算化したという報告があった。なお、文部科学省が隔年で行う日本語指導が必要な児童生徒等の実態調査は次年度に延期となったという報告が県教育委員会からあった。

## 2.2 遠隔個別支援事業

むつみっこ・くらぶ、ゆうの会会員による、個別支援活動が昨年度、今年度も継続されている。また、新型コロナウイルス感染対策、および広域に散在する子どもの支援を目的として、岩手大学の学生による遠隔個別支援活動が宮古(中学生)、葛巻(小学生)に対して、試行が始まった。次年度以降も事業として継続を予定している。

(報告: 松岡洋子)

# 岩手県留学生交流推進協議会事業報告

## 1. 岩手県留学生交流推進協議会総会

岩手県留学生交流推進協議会総会は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ紙上会議(令和2年12月22日～令和3年1月8日)で開催し、23の構成団体から回答を得ました。

総会では、令和2年度事業計画として、広報誌「留学生いわて」33の発行、「with コロナ時代の留学生たちは？」作文コンクールの開催について、それぞれ審議のうえ実施することとしました。

また、令和元年度事業として、総会の開催、広報誌「留学生いわて」32の発行、第7回外国人留学生による“岩手のいいところ”写真展の実施、令和元年度外国人留学生の生活状況アンケート集計結果、外国人留学生フィールドスタディ in Iwate の実施について報告がありました。

## 2. 特別企画:「with コロナ時代の留学生たちは？」作文コンクール

平成25年度から実施してきた“岩手のいいところ”写真展は、今年で第8回目の開催となる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴い、例年の写真展から転換して、特別企画として「with コロナ時代の留学生たちは？」作文コンクールを開催した。作文を通して、県内の留学生たちはコロナ禍でどのように過ごしているかその思いを聞くとともに、今後の留学生支援に役立てていくことが本作文コンクールのねらいである。

県内の高等教育機関に在学している留学生を対象に募集したところ、岩手大学から14点、盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校から3点、上野法律ビジネス専門学校から1点、全部で18点の応募があった。応募作品を通して岩手で生活している留学生も様々に大きな影響を受けている様子が分かった。「母国にいる家族に会えない」、「本国に帰れない」、「アルバイトができなくなったため、困っている留学生が少なくない」、「遠隔授業は確かに便利だが、宿題の量もだいぶ増えた」など大変な思いをつづった一方で、「強い目標を持つようになった」、「家族と連絡を取ることが増えた」、「自粛生活で様々な自分自身を見つけて自信を持つことができた」と前向きな姿勢も見受けられた。

令和3年3月5日に行われた表彰式では、受賞者に表彰状と各協賛団体等から提供された賞品が贈呈された。岩手県留学生交流推進協議会長の小川智岩手大学長からは留学生

に対し、「母語ではない日本語や英語で、それもわかりやすく書いたことがとても素晴らしかった」と、講評を得た。

本協議会構成機関より、たくさんのご協賛をいただき心より感謝申し上げたい。いただいた図書カード、南部せんべい、クッキー、化粧品、市町村のグッズなど、留学生にはコロナ禍の中、嬉しいプレゼントとなった。

#### 受賞作品一覧

岩手県留学生交流推進協議会長賞

黄 耀明(台湾・岩手大学) コロナ時代の思いやり

株式会社久慈琥珀賞

伍潔玲(中国・岩手大学) コロナ禍で私の留学生活

株式会社八幡平リゾート賞

・Yu Daehee(韓国・岩手大学) コロナ時代の私

・Tapati Sumaiya Jannat(バングラデシュ・岩手大学) The Pandemic

岩手県国際交流協会賞

・ラマ アシス(ネパール・盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校) コロナをチャンスに

・賈 儒昊(中国・岩手大学)

コロナの影響の多面 - 不利だけではなく、有利になるかもしれない -

盛岡市賞

Biswas Peru Gopal(バングラデシュ・岐阜大学岩手大学配属)

Global Impact (Brief) of COVID-19

岩手県立大学賞

Quan Thi Huong(ベトナム・岩手大学) コロナに限らず、変化に対応する力を身に付けよう

盛岡大学賞

何 岩(中国・岩手大学) A Spot of Bother

富士大学賞

Ahmed Rubel(バングラデシュ・岩手大学) Aftermath of Covid-19: Quest for New Normal

いわてユネスコ賞

Luong Ngoc Phuong Lan(ベトナム・岩手大学) コロナのおかげで体験できること

サーモンランド賞

何 奕君(中国・岩手大学) コロナ時代、生活での些細な出来事

IF YOU WANT 賞

Tserensambuu Mandukhai(モンゴル・岩手大学) コロナが私に教えてくれたこと

事務局優秀賞

王 宇超(中国・岩手大学) International Students in the Epidemic Era

奨励賞

・趙 蓬(中国・上野法律ビジネス専門学校) コロナ時代と私たち

・La Woon Pyae(ミャンマー・盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校) コロナをチャンスに

・江 敏婷(中国・岩手大学) コロナの時代に生きて、怖くない

(報告:国際課)

## 令和2年度ヤングリーダーズ国際研修

### 1. 研修概要: 地場産品の物語性と持続可能な社会

観光客をはじめとした地域外からの消費者が、訪問先の地場産品を購入する動機の一つとして、その商品が持つ「物語性」に関心を持つことがあげられる。今回の研修では、陸前高田市の CAMOCY の協力を得て、CAMOCY で提供される発酵食品に関する「物語」を収集し、その紹介素材を作成する。本研修を通じ、多様な出身、専攻、学年の研修参加学生により、地元の視点を越えた多様な「物語性」を発見、発信することが期待される。また、参加学生は、多様な視点から地場産品の価値を見出し、その発信作業を通じて、地域産業の持続可能性を高める意義について学ぶ。

キーワード: 発酵 健康 おいしさ 楽しさ 生産者の思い

\* SDGs 目標: 7(生業)、11(地域)、12(責任ある生産と消費)

### 2. プログラム期間

令和3年2月22日～26日

2月22日(月): 岩手山青少年交流の家

オリエンテーション

発酵食品、消費者の購買行動等に関する基礎知識の共有

収集すべき情報、映像等の検討・準備

CAMOCY の基礎情報の遠隔講義(コンセプト、店舗、商品情報等)

2月23日(火・祝): 陸前高田グローバルキャンパス

(午前)移動、陸前高田市津波伝承館見学

(午後)CAMOCY にて店長取材、グローバルキャンパスにて発信する情報の整理

2月24日(水): 陸前高田グローバルキャンパス

(午前)CAMOCY にて中心的な人達のインタビュー

(午後)グローバルキャンパスにて CAMOCY 紹介のミニ動画作成の資料整理

2月25日(木): 岩手山青少年交流の家

(午前)CAMOCYにて追加動画撮影

(午後)移動 岩手山青少年交流の家にてCAMOCY紹介のミニ動画作成作業

・追加資料収集 編集作業

2月26日(金):岩手山青少年交流の家

素材仕上げ&成果報告

### 3.参加者内訳

留学生:2名(香港、中国)

日本人学生:4名(人社学部2名、教育学部1名、農学部1名)

引率:国際教育センター教員2名

### 4.活動場所

活動場所:陸前高田グローバルキャンパス、CAMOCY

宿泊場所:岩手山青少年交流の家、キャピタルホテル1000

### 5.成果物

MAaLo



発酵食堂やぎさわ

gentil



マイクロブルワリー

CACAObroma



CAMOCY 1

CAMOCY 2



以上

(報告:尾中夏美)

## 米国で活躍する理工学部卒業生との懇談会

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は学生達の海外研修や留学等の機会が失われた。そこで、海外で働く本学卒業生を講師に招き、令和2年11月17日(火)に「Global village グローカルセミナー『米国大手 IT 企業で活躍する理工学部卒業生との懇談会』～海外で働きたい人のためのキャリアガイダンス～」を企画した。当日は、先端理工学特別プログラム( )の学生19名が参加した。学生達からは活発な質疑があり、講師からは学生時代のこと、これまでのキャリアや現在大手IT企業で取り組んでいること、海外勤務で苦労したこと、英語力やスキルアップのために取り組んだことなどが紹介された。今回の懇談を通して、学生達は海外の企業で働く具体的なイメージを持つことができ、国際的視野の拡大を図る機会となった。

先端理工学特別プログラム・・・理工学に対して高い興味と関心を持った学生を選抜

(報告:国際課)



## 日本留学フェア及び外国人学生のための進学説明会等

本学では、第三期の国際連携戦略アクションプランにおいて、「グローバル化に関する取組の情報発信・周知・啓蒙活動の推進」、「交換留学生、大学院生を中心とした受入留学生の促進」、「多様な国・地域への留学、国内外での国際研修プログラムを多様化し、学生の海外派遣を促進」などを挙げており、それに関連した国際広報活動を行っている。

主に、海外で行われている日本留学フェア及び国内の外国人学生のための進学説明会、協定校訪問、卒業留学生との懇談会開催等を通じて、本学の認知度を向上、優秀な留学生の獲得、卒業留学生とのネットワーク構築のための広報活動を行ってきた。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年度初めに計画したイベントが中止、或いはオンラインでの開催となった。

### 1. 国内

#### 1.1 日本留学試験(第2回)の国外試験会場への資料配布

令和2年11月8日(日)に実施した「令和2年度日本留学試験(第2回)」国外実施会場に設置した渡日前入学許可大学資料コーナーに、本学の留学案内(日本語、英語、タイ語、中国語、韓国語)を配布し、日本留学を目指している海外の方々へ岩手大学をPRする良い機会となった。

資料配布を行った国・地域(都市)は以下のとおり。

インド(ニューデリー)、インドネシア(ジャカルタ・スラバヤ)、韓国(ソウル・プサン)、タイ(バンコク)、台湾(台北)、ベトナム(ハノイ・ホーチミン)、香港、マレーシア(クアラルンプール)、モンゴル(ウランバートル)

#### 1.2 北東北国立三大学国際交流担当者による進学説明会

- ・日時: 令和2年12月16日(水) 13:00～15:00
- ・開催方法: Zoomでの開催(ホスト: 岩手大学国際課)
- ・参加機関: 秋田大学、弘前大学、岩手大学
- ・参加学生

盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校 生徒8名(全員ベトナム人)

上野法律ビジネス専門学校からの参加はなかった。

## ・感想

コロナウイルス感染症の拡大により、盛岡での開催が難しくなり、オンライン(Zoom)形式に変更して開催した。オンライン接続が順調に行くか心配だったが、事前のテストから実際の開催まで、スムーズに進行ができて、ミーティング主催者側として一安心した。

今回も例年通り、盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校と上野法律ビジネス専門学校に照会したが、当日は盛岡情報ビジネス&デザイン専門学校の生徒のみ参加した。コロナウイルス感染症の拡大により、4月と10月の入学ができない中、8名の生徒が参加し、さらに三大学への進学希望者がいることを聞き、本説明会の必要性を感じた。

オンラインでの開催は、対面での個別相談ができないが、予算がかからない、秋田・弘前の場合は移動に時間がかからないなどのメリットもあり、今後もオンラインでの開催を検討しても良いと思う。また、今までは岩手大学が当該専門学校と同じ盛岡市にあることから、日程調整や会場提供など行ったが、オンラインでの開催になる場合、三大学がローテーションで担当を回して開催することも視野に今後検討していく予定である。

### 1.3 外国人学生のための進学説明会(JASSO 主催) 東京会場・大阪会場 中止

## 2. 国外

### 2.1 中国 福建省福州市「日中大学フェア&フォーラム in China 2020」

日時: 令和2年5月29日(金)~6月2日(火) 延期・日程未定

会場: 福建省福州市 福建会堂/西湖賓館/西湖大酒店(隣接した3会場にて開催)

主催: 国立研究開発法人科学技術振興機構、中国科学技術部(国家外国専門家局)

共催: 福建省科学技術庁(福建省外国専門家局)

その他: 協定校福建農林大学訪問

次年度へ延期

### 2.2 タイ チェンマイ・バンコク 日本留学フェア(JASSO 主催)

チェンマイ会場 令和28月22日(土)

バンコク会場 令和28月23日(日)

その他: タイ協定校等(メージョー大学も含む)訪問、在タイ卒業生との連携強化

中止

### 2.3 米国の高校訪問

日本語学習をする米国人リクルートとして、学習者が多く存在する地域(候補として、ミネソタ州、イリノイ州、カリフォルニア州など)の高校を訪問。

その他:協定校訪問、在米卒業生との連携強化

中止

### 2.4 大連市の高校訪問

岩手県大連経済事務所と連携して、日本語を学んでいる大連の高校生のリクルートとして、大連市の高校を訪問。その他:協定校訪問、大連近郊卒業生との連携強化

中止

### 2.5 その他

(1)ライトハウス主催「日本の大学説明会(アメリカ)」

・開催期間:令和2年11月4日(水)~12月3日(木)

・開催方法:オンライン会議ツール(Zoom)を使ったライブ配信

各参加大学は20~30分のプレゼンテーションを行い、その後合同の質疑応答

・参加大学

上智大学、中京大学、岩手大学、筑波大学、立命館大学、京都先端科学大学、テンブル大学、慶應大学湘南藤沢キャンパス、法政大学、国際基督教大学、桜美林大学、杏林大学、工学院大学、九州大学、立命館アジア太平洋大学、青山学院大学、津田塾大学、京都先端科学大学、九州大学、立命館大学、中京大学、筑波大学、近畿大学

・岩手大学参加日程:

11月4日(水)英語によるプレゼン&質疑応答(参加者 約360名)

11月25日(水)日本語によるプレゼン&質疑応答(参加者 約180名)

・参加者

出身内訳はアメリカ50%(片方の親が日本人等)、日本43%(親が駐在員等)。

なお、参加者の49%が日本の大学に進学予定者、それ以外はアメリカと日本の大学の両方を選択肢として考えている者であった。

・参加者の岩手大学への興味について

英語プレゼン前後では、岩手大学に興味があると答えた参加者は19.8%から46.5%に

増加し、日本語プレゼン前後では、岩手大学に興味があると答えた参加者は 23%から 34.5%に増加した。また、大学での勉強の話以外で、桜やスキーの話で興味を持った参加者がいた。

・海外への PR について

これまでは主にアジアの大学を中心に現地で PR してきたが、今回は新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインでの PR となった。海外にいる親子が自宅のリビングで日本の大学とつながり情報収集できるのはメリットと考えられる。地方国立大学のため、これまでなら立地的にも知名度的にも進学する大学の選択肢に本学は入らなかったと思われるが、オンラインになり選択肢に入る余地が出てきたと考えられる。

(2) 岩手大学交換留学プログラム IU-SEP オンライン説明会

・開催の趣旨

本学と学生交流に関する覚書を締結している海外の大学から、毎年 4 月と 10 月に交換留学生約 50 名を受け入れ、交換留学生には「The Iwate University Student Exchange Program (IU-SEP)」を提供し、文系コース、理工学コース、農学コース等に分けて教育カリキュラムを構築してきた。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和元年度 4 月と 10 月は海外からの交換留学生の受入を中止したため、現在(2020 年 10 月)日本国内から移動してきた交換留学生 1 名のみが在学している。そこで、11 月の国際月間イベントとして、オンラインによる交換留学プログラム説明会を開催し、本学への交換留学を希望する学生に岩手大学を知る機会とした。

・開催日程

令和 2 年 11 月 30 日 日本時間:13:00 ~ 14:30

・開催方法

Zoom を用いて、オンラインで実施。

・参加者

学生交流に関する覚書を締結している海外の大学の学生、教職員等 約 30 名

・説明会の流れ

岩手大学紹介ビデオ上映

(大学プロモーションビデオ、国際交流会館、交換留学生の一日)

交換留学プログラム IU-SEP 紹介(説明:松岡洋子)

交換留学経験者による体験談(ビデオ上映)

山東工芸大学 趙さん

ボルド・モンテーニュ大学 フラヴィさん

大連理工大学 宋さん

(3) モンゴル・日本留学フェア 2020 オンライン

- ・主催: モンゴル・日本人材開発センター (MOJC)
- ・後援・協力 (: モンゴル国立大学 (NUM)、モンゴル国教育科学省、在モンゴル日本国大使館、国際協力機構 (JICA)、日本学生支援機構 (JASSO)
- ・開催方法: 「日本留学フェア・オンライン 2020」特設ウェブサイトでの PR
- ・ウェブサイト開設: 2020 年 10 月下旬 ~ 11 月中旬
- ・対象: 日本留学を希望する高校生・大学生・大学院生・社会人、大学教育機関等
- ・参加大学: 大阪大学、慶應義塾大学、熊本大学、九州大学、京都大学、事業創造大学院大学、中央大学、筑波大学、東京国際大学、南山大学、兵庫県立大学、熊本介護コンソーシアム、立命館アジア太平洋大学、九州看護福祉大学、岩手大学
- ・特設ウェブサイトのコンテンツ
  - 参加大学の留学・入試情報等を掲載
  - 大使館からの日本政府 (文部科学省) 奨学金案内
  - JASSO からの日本留学情報
  - 留学中の学生からのインタビュー
  - 日本語学習法に関する最新情報の提供
- ・文字や動画は、主催者が基本モンゴル語に訳して掲載

(4) オンライン日本留学フェア (於ロシア連邦)

- ・主催: 北海道大学、筑波大学、新潟大学 (日本留学海外拠点連携推進事業)
- ・開催日程: 令和 2 年 11 月 5 日 (木) 日本時間 15 時 ~ 17 時
- ・開催形式: プレゼン動画または広報動画による参加、大学の所在地、地域情報を説明するパワーポイント資料の提供、奨学金制度や授業料免除適用となるプログラム概要等資料の提供
- ・説明言語: ロシア語または英語

- ・オンライン留学フェア後のオンデマンドでの活用: 提供した動画は、オンライン留学フェアの開催後、オンデマンドで常時アクセス可能なコンテンツとして Study in JAPAN Global Network Project Russia and CIS ホームページ上で公開  
北海道大学ウェブサイト: <https://www.study-in-japan-russia-cis.org/>  
筑波大学ウェブサイト: <https://studyinjapan-cis.org/>

・当日のプログラム

15:00 開会挨拶

日本留学概要紹介

国費奨学金制度(大使館推薦)紹介

主催3大学の紹介(オンタイムによるプレゼン)

日本の大学紹介(参加大学ご提供プレゼン画像配信)

留学経験者による体験談

17:00 閉会挨拶

(報告: 国際課)

# 岩手大学外国人留学生同窓会事業報告

## 1. オンライン情報交換会を開催

岩手大学外国人留学生同窓会は令和3年3月29日、外国人同窓生と学長等との情報交換会をオンラインで開催した。

岩手大学外国人留学生同窓会は令和2年11月に岩手大学創立70周年を期に設立され、世界各地で活躍している外国人卒業生・修了生と岩手大学の連携強化を構築してきた。現在、本同窓会には8か所(東京支部、西安支部、モンゴル支部、タイ支部、長春支部、長江デルタ支部、マレーシア支部、岩手支部)の支部があり、今回の情報交換会には5か所の支部から会長ら14名が参加した。

本来であれば海外支部を会場とした公開セミナーを開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の世界的流行に伴い、オンラインでの情報交換会に転換して開催された。情報交換会では各支部の活動報告が行われたほか、各地域のコロナ禍での現状についても紹介があり、今後の学生派遣などに貴重な情報を得ることができた。岩手大学からは小川智学長をはじめ、国際連携担当副学長、国際教育センター教員、国際課職員が参加した。

小川学長から、「今年度はコロナ禍で学生の海外派遣、留学生受入は大きな影響を受けた。今後は学内の多言語多文化交流空間「Global Village」にて卒業留学生紹介セミナーの実施、オンラインを通しての卒業生と在学生による研究シンポジウムの開催を通して、外国人同窓生との連携を強くし、大学と地域のグローバル化に貢献していきたい」と、強い思いが述べられた。

久しぶりの日本語での会話で戸惑う様子の同窓生もいたが、情報交換会は終始和やかな雰囲気で行われ大変有意義な機会となった。

## 2. 岩大さっくら通信 vol.4 の発行

卒業生のみなさんに岩手大学の今の様子や、これから開催する卒業生向けのイベント情報等をお知らせするメールマガジン「岩大さっくら通信 vol.4」を発行した。

### 目次

コロナ禍でつながる卒業生との輪

卒業留学生の声～「しばらくですね」～

岩大百景 (新)

現役留学生コラム(国際交流 PR アソシエイト)

動画紹介(交換留学生経験者インタビュー)

岩手大学イーハトーヴ基金 岩手大学外国人留学生同窓会基金のお知らせ

さっくら通信 vol.4 は、こちらの HP からご覧ください。

<https://www.iwate-u.ac.jp/iuic/alumni/to-alumni/mail-magazine.html>

#### 外国人留学生同窓会支部一覧(令和3年3月現在)

	支部名	代表者 事務局	申請日
1	岩手大学外国人留学生同窓会東京支部 Alumni association for Iwate University International Students Tokyo branch	李 書墨	2018.6.15
2	岩手大学外国人留学生同窓会西安支部 Alumni association for Iwate University International Students Xi'an branch	張 志毅	2018.6.20
3	岩手大学外国人留学生同窓会モンゴル支部 Alumni association for Iwate University International Students Mongolia branch	グンジー ゴリーグ ヌグジガル プレブツォグ ト	2018.6.20
4	岩手大学外国人留学生同窓会タイ支部 Iwate University Alumni Association of Thailand (IWAAT:イワート)	ラタナチャイ パイリントラ ナロンサック ピシャヤピス ット	2018.7.4
5	岩手大学外国人留学生同窓会長春支部 Alumni association for Iwate University International Students Changchun branch	趙蘭波 楊連玉	2018.8.20



6	岩手大学外国人留学生同窓会長江デルタ支部(上海、浙江省、江蘇省地域) Alumni association for Iwate University International Students Yangtze River Delta branch	楊建華 叢 培紅(副支部長) 毛 偉	2019.6.21
7	岩手大学マレーシア同窓会 Malaysian Alumni of Iwate University (MAIU) Malaysian Alumni of Iwate University (MAIU)	Hanafiah Yussof Isrami Ismail	2019.10.10
8	岩手大学外国人留学生同窓会岩手支部 Alumni association for Iwate University International Students Iwate branch	李 金花 白 韻	2021.3.23

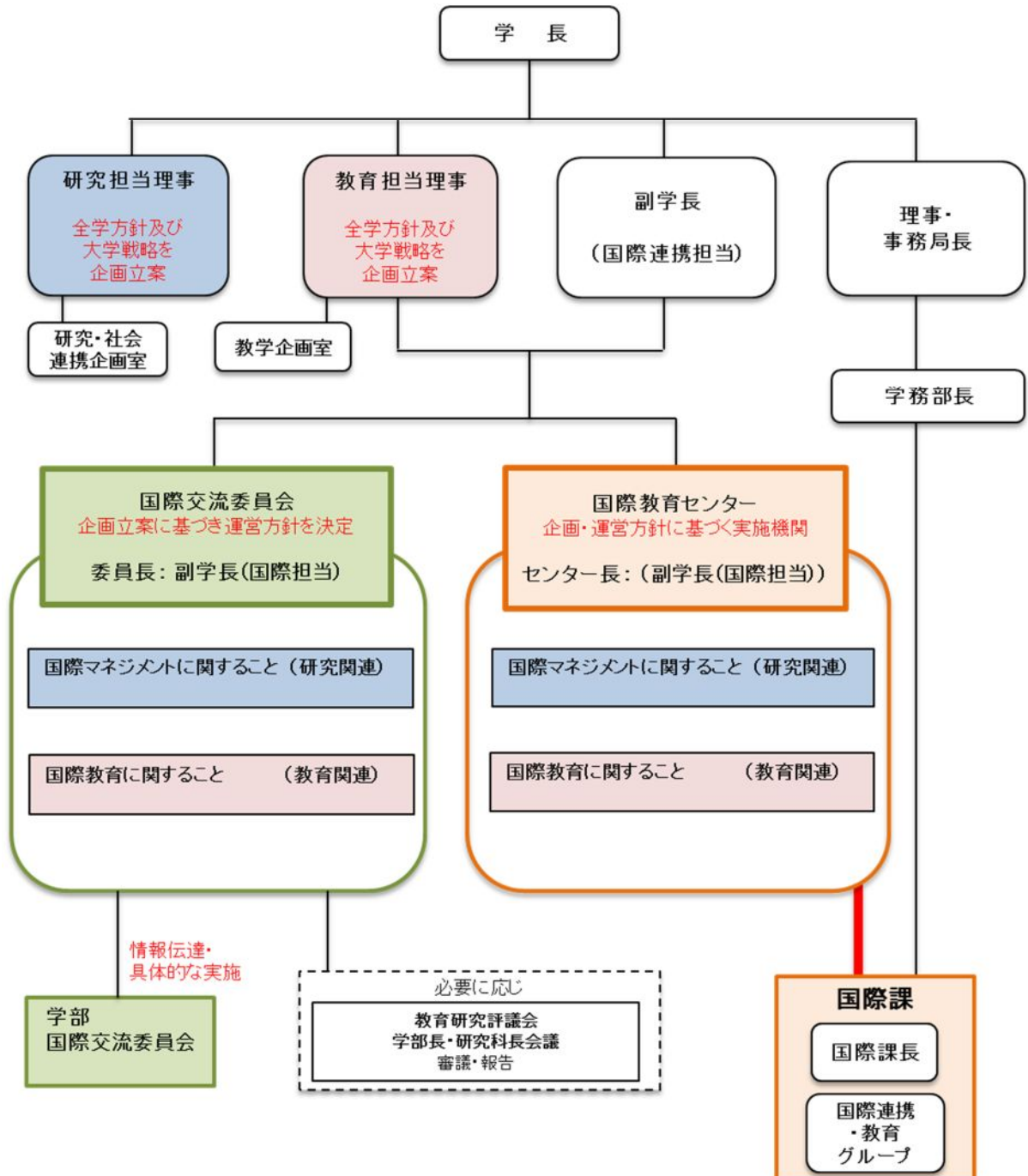
(報告:国際課)

## 岩手大学海外派遣・留学生受入危機管理マニュアルの改訂

海外派遣・留学生受入危機管理マニュアルは、日本人学生等を海外へ派遣する際と、留学生を海外等から受け入れる際の二部構成の危機管理マニュアルとなっており、平成 30 年 3 月 22 日に作成した。このマニュアルの作成から約 3 年が経過し、この間に本学は事務組織や教育研究施設等の見直しを行い、また、危機管理規則や岩手大学リスクマネジメント指針を制定し、地震対応の手引きを改訂した。さらに、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により緊急を要する対応が求められるようになった。これまでは外務省の「危険情報」安全対策の 4 つの目安や「感染症危険情報」発出の目安により学生等の派遣や途中帰国の判断を行ってきたが、本学において新型コロナウイルス感染症への警戒段階別対応方針 (BCP) を定めたため、この BCP にも従う必要が出てきた。そこで、以上のことを踏まえ令和 3 年 3 月 11 日付けでこのマニュアルを改訂した。

(報告: 国際課)

## 国際教育センター関連組織図



# 留学生アンケート

## 1.概要

留学生に関わる施設や設備、支援体制(経済支援、チューター支援等)、相談体制、留学生に関わるイベント等について在籍中の留学生から感想・意見を聴取し、今後の留学生受け入れ体制の整備や課題の解決の一助とするため実施した。結果については、留学生への支援や環境を改善しさらに充実させるため、有効活用するものである。

## 2.実施期間・方法

実施期間:令和元年2月13日~3月23日

実施方法:電子アンケートシステム

## 3.回答者数

正規生20名、非正規生6名(対象者数208名 令和2年2月現在)

## 4.アンケート項目

主に以下のような事柄に対して在籍中の留学生から感想・意見を聴取した。

学習環境や日本語教育について

教育体制について

支援体制について(経済支援、チューター制度等)

同窓会、行事について

大学生活の感想、岩手大学への意見等

(報告:国際課)

## 外国の大学との交流

Academic Cooperation between Universities/Faculties

令和2年5月1日現在

### 大学間協定 Universities

国名 Country	大学等名 Name of University	初締結 年月日 First Date of Agreement	主な交流内容 Contents of Exchanges	
			学術交流 Academic Exchange	学生交流 Student Exchange
中華人民共和国 People's Republic of China	曲阜師範大学 Qufu Normal University	2002.9.25		
	北京大学・石河子大学 Peking University Shihezi University	2003.12.5		
	西北大学 Northwest University	2003.12.9		
	大連理工大學 Dalian University of Technology	2005.5.23		
	吉林農業大学 Jilin Agricultural University	2006.10.3		
	寧波大学 Ningbo University	2006.10.28		
	山東工芸美術学院 Shandong University of Art and Design	2016.7.21		
	上海海洋大学 Shanghai Ocean University	2017.5.16		
	福建農林大学 Fujian Agriculture and Forestry University (FAFU)	2019.7.8		
大韓民国 Republic of Korea	明知大学校 Myongji University	2004.7.13		
	国立 HANBAT 大学校 Hanbat National University	2006.8.23		
	全南大学校 Chonnam National University	2009.9.1		
	群山大学校 Kunsan National University	2016.1.27		
台湾 Taiwan	国立高雄師範大学 National Kaohsiung Normal University	2011.7.8		
タイ王国 Kingdom of Thailand	サイアム大学 Siam University	2002.7.2		
	キングモンクット工科大学トンブリ校 King Mongkut's University of Technology, Thonburi	2016.6.20		
	ラジャマンガラ工科大学ラーナ校 Rajamangala University of Technology Lanna	2017.7.26	○	
	パンヤピワット経営大学 Panyapiwat Institute of Management	2017.12.18	○	○

	キングモンクット工科大学ラカバン校 King Mongkut's University of Technology, Ladkrabang	2018.8.1	○	○
	チェンマイ大学 Chiang Mai University	2019.5.8	○	
	ラジャマンガラ工科大学タンジャブリ校 Rajamangala University of Technology Thanyaburi	2019.5.19	○	
ミャンマー連邦共和国 Republic of the Union of Myanmar	パテイン大学 Pathein University	2016.12.4		
アメリカ合衆国 United States of America	オーバン大学 Auburn University	1998.11.6		
	アールラム大学 Earlham College	2003.8.11		
	テキサス大学オースティン校 The University of Texas at Austin	2004.10.20		
	アラスカ大学アンカレッジ校 University of Alaska Anchorage	2016.2.5		
カナダ Canada	セント・メアリーズ大学 Saint Mary's University	2003.7.31		
	サスカチュワン大学 University of Saskatchewan	2013.3.1		
アイスランド共和国 Republic of Iceland	アイスランド大学 The University of Iceland	2011.2.16		
ロシア連邦 Russian Federation	サンクト・ペテルブルグ国立文化大学 St. Petersburg State University of Culture	2000.3.28		
モンゴル国 Mongolia	モンゴル国立大学 National University of Mongolia	2017.10.1		
	モンゴル科学技術大学 Mongolian University of Science and Technology	2018.9.4		
イギリス(スコットランド) United Kingdom (Scotland)	スターリング大学 University of Stirling	2020.11.2		

大学院生の受入(交換留学外)

部局間協定 Faculties

部局名 Faculty in Charge	国名 Country	大学等名 Name of University	初締結 年月日 First Date of Agreement	主な交流 内容 Contents of Exchanges	
				学术交流 Academic Exchange	学生交流 Student Exchange
人文社会科学部 Humanities and Social Sciences	フランス共和国 French Republic	ボルドー・モンテーニュ大学 Université Bordeaux Maigne	2007.7.6		
教育学部 Education	中華人民共和国 People's Republic of China	北京大学芸術学系・哲学系・宗教学系 Peking University Department of Philosophy (Religion)	1998.8.21		
	イタリア共和国 Republic of Italy	カララ大学 Accademia di Belle Arti di Carrara	2005.10.5		
	アメリカ合衆国 United States of America	ノース・セントラル・カレッジ North Central College	2002.9.6		
	カナダ Canada	ブリティッシュ・コロンビア大学 教育学部 The University of British Columbia Faculty of Education	2001.7.17		
人文社会科学部・教育学部 Humanities and Social Sciences, Education	中華人民共和国 People's Republic of China	清華大学人文学院 School of Humanities, Tsinghua University	2017.3.21		
理工学部 Science and Engineering	中華人民共和国 People's Republic of China	華南理工大学 South China University of Technology	2004.7.6		○
		西北農林科技大学信息工程学院 Northwest A&F University College of Information Engineering	2006.8.23		
		清華大学深圳研究生院 Graduate School at Shenshen, Tsinghua University	2016.7.5		
	台湾 Taiwan	台湾国立嘉義大学生命科学院 National Chiayi University, College of Life Science, Taiwan	2020.5.1		
	タイ王国 Kingdom of Thailand	タマサート大学工学部 Faculty of Engineering, Thammasat University	2014.12.11		

		カセサート大学理学部 Faculty of Science, Kasersert University	2016.7.1		
		バヤオ大学経営情報科学部、 健康科学部 School of Management and Information Sciences, School of Architecture and Fine Arts, University of Phayao	2019.7.8		
	マレーシア Malaysia	マレーシアバハン大学研究イノ ベーション部門 Department of Research and Innovation, University Malaysia Pahang	2010.6.9		
	大韓民国 Republic of Korea	忠南大学校グリーンエネルギー 技術専門大学院 Chungnam National University Graduate School of Green Energy Technology	2013.4.8		
		韓国世宗大学校工学部 College of Engineering, Sejon g University	2019.1.8	○	
	モンゴル国 Mongolia	人文大学情報通信マネーজে メント学院 University of the Humanities	2016.4.1		
	キルギス共和国 Kyrgyz Republic	キルギス-トルコマナス大学工 学部 Engineering Faculty, Kyrgyzst an-Turkey Manas University	2009.10.22		
		キルギス-ロシアスラブ大学工 学部 Engineering Faculty, Kyrgyz- Russian Slavic University	2010.12.1		
	スウェーデン王 国 Kingdom of Sweden	リンネ大学工学部・健康科学部 Faculty of Technology, Faculty of Health and Life Sciences, Linnaeus University	2016.10.1		
	ベトナム社会主 義共和国 Socialist Republic of Viet Nam	ベトナム国建設省建築材料研 究院 Vietnam Institute for Building Materials of Ministry of Construction	2017.12.4	○	
農学部 Agriculture	ドイツ連邦共和 国 Federal Republic of German	ロッテンブルク大学 University of Applied Forest Sciences Rottenburg	2013.11. 6		
連合農学研究 科 Agricultural Sciences	バングラデシュ 人民共和国 People's Republic of Bangladesh	ダッカ大学生物学部 Faculty of Biological Sciences, University of Dhaka	2014.11.26		



国際教育センター International Education Center	台湾 Taiwan	台湾文藻外語大学日本語文系 Department of Japanese, Wenzao Ursuline University of Languages	2018.2.26	○	
	インドネシア共 和国 Republic of Indonesia	アイルランガ大学人文学部 Airlangga University Faculty of Humanities	2018.3.20		

## 国際交流支援コーディネータについて

国際交流支援コーディネータは、国際化推進のための理念に基づく目標を達成するため、本学における特定の国際化推進事業を支援する専門的知識等を有する外部の者を、岩手大学国際交流支援コーディネータとして委嘱している。

### 国際交流支援コーディネータ 委嘱者

No.	氏名	国籍	現職	委嘱日
1	ラタナチャイ パイリントラ	タイ	King Mongkut's University of Technology Thonburi 助教授	2006年 9月1日
2	鈴木 満	日本	リンネ大学 嘱託教員	2012年 8月1日
3	管 信利	日本	NPO 法人 ASIA Environmental Alliance 副代表	2014年 10月1日
4	楊 建華	中国	寧波大学日本語系副主任 副教授	2014年 10月1日
5	杉山 功	日本	彫刻家	2014年 10月1日
6	唐 硯漁	台湾	国立高雄師範大学 文化創意設計産学中心主任 工業設計系教授	2014年 10月1日
7	村上 清	日本	陸前高田市市政アドバイザー	2014年 10月1日
8	ジェーン タンナー テラシマ	アメリカ 合衆国	元アールラム大学講師 TSA プログラムディレクター	2016年 4月1日
9	門馬 孝之	日本	無職	2016年 4月1日
10	陳 愛陽	中国	清華大学日本語学科 准教授	2016年 4月1日
11	ポントーン トゥーバテミー	タイ	タマサート大学工学部 助教授	2017年 10月1日

No.	氏名	国籍	現職	委嘱日
12	ナロンサック ピチャヤピスット	タイ	カセサート大学人文学部 専任講師	2017年 10月1日
13	イスラミ イスマイル	マレーシア	I-FIRM SDN BHD 社 代表	2017年 10月1日
14	モニカ クレジョン ストン	ドイツ	無職 (元ゲーテ・インスティテュート講師)	2019年 4月1日
15	アントニウス ラーマト プジョ ブルノモ	インドネシア	アイルランガ大学 准教授	2018年 10月1日
16	林 珈汶	台湾	ブランドマネージャー	2018年 10月1日
17	ヌグジガル プレブツォグット	モンゴル	モンゴル国立大学 プログラム・信頼性保証室長	2019年 10月1日
18	田中 琢治	カナダ	サスカチュワン大学 准教授	2019年 10月1日
19	福澤 純一	日本	無職	2019年 10月1日
20	藁谷 収	日本	岩手県立美術館 館長	2020年 10月1日

(報告:国際課)

## Iwate University Global Fellow について

「Iwate University Global Fellow」称号は、海外の教育研究機関等で活躍する本学の卒業生及び元教職員との関係強化並びに本学の国際的プレゼンスの向上を目的として授与している。

### Iwate University Global Fellow 授与者

No.	氏名	国籍	所属等	授与日
1	Chilakamarri (Chary) Rangacharyulu	カナダ	University of Saskatchewan サスカチュワン大学 教授	2017 年 2 月 27 日
2	Karen Kikumi Tanino	カナダ	University of Saskatchewan サスカチュワン大学 教授	2017 年 4 月 18 日
3	Arnold Martin Howitt	アメリカ合 衆国	Harvard University ハーバード大学 アッシュセンター 上級顧問	2017 年 6 月 16 日
4	Minjie Wang (王 敏杰)	中国	Dalian University of Technology 大連理工大学 模具研究所 教授	2017 年 6 月 21 日
5	Zhongchen Wang (王 中忱)	中国	Tsinghua University 清華大学 教授	2018 年 8 月 8 日
6	Lanpo Zhao (趙 蘭坡)	中国	Jilin Agricultural University 吉林農業大学 教授	2018 年 9 月 8 日
7	Choi Myeongrak (崔 明洛)	韓国	Chonnam National University 全南大学 教授	2019 年 11 月 14 日
8	Peihong Cong (叢培紅)	中国	Fudan University 復旦大学 教授	2019 年 3 月 9 日
9	Mashitah Binti Mohd Yusoff	マレーシア	Universiti Malaysia Pahang パハン大学 副学長、教授	2019 年 11 月 14 日

(報告:国際課)

## 令和2年度 留学生関係行事

前期	4月	13日(月)	留学生オリエンテーション、交換留学生オリエンテーション、日本語オリエンテーション(オンライン)	
	5月	7日(木)	前期授業開始	
	6月	29日(月)	「IHATOVO グローバルコース」ゴールド認定証授与式	
	8月	4日(火)	前期交換留学プログラム 修了式	
		13日(木)～9月30日(水)		夏季休業
	9月	29日(火)	留学生オリエンテーション、日本語オリエンテーション	
後期	10月	6日(火)	後期授業開始	
	11月	20日(金)	外国人留学生フィールドツアー 日本三景松島日帰り	
	12月	24日(木)～1月5日(火)		冬季休業
	1月	15日(金)	フィールドスタディ スキー・スノーボード in 八幡平	
	2月	17日(水)	フィールドスタディ in Iwate 企業訪問(アイシン東北(株))	
		15日(月)	フィールドスタディ スキー・スノーボード in 安比	
		19日(金)	フィールドスタディ in Iwate 企業訪問(盛岡セイコー工業(株))	
	3月	5日(金)	外国人留学生による作文コンクール表彰式	
		23日(火)	学位記授与式	
		24日(水)～31日(水)		春季休業

## 令和2年度交換留学生受入・派遣実績

学部等	受入 学生数	内訳	派遣 学生数	内訳
人文社会科学部	-	-	-	-
教育学部	1	タイ:サイアム大学1	-	-
理工学部	-	-	-	-
農学部	-	-	-	-
総合科学研究科 総合文化学専攻	-	-	-	-
総合科学研究科 農学専攻	-	-	-	-
総合科学研究科 理工学専攻	-	-	-	-
グローバル教育センター	-	-	-	-
合計	1	-	-	-

令和2年度は4月期・10月期とも新型コロナウイルス感染症の影響により交換留学プログラム中止。

受入(1名)についてはコロナ禍以前に他大学への交換留学生として来日していた学生が帰国することなく10月期からの受入を希望したため、受入可能となった。

(報告:国際課)

## 訪問海外研修生受入実績

### 訪問海外研修生

岩手大学において短期間(3 日以上 90 日以下)の教育、研究指導又は研修を受けることを希望する外国の大学等の学生を「訪問海外研修生」(英語名称“Short-Term Visiting Trainee”)として受け入れることで、当該者の本学における諸活動に便宜を図り、もって本学の国際的な人材育成の推進に資することを目的とした事業。

令和2年度実績: 新型コロナウイルス感染症の影響により受入不可

(報告: 国際課)

## 岩手大学海外派遣・留学プログラム一覧(短期研修・研究型)

プログラム名	派遣地域・大学	派遣時期	派遣期間	単位認定	参加資格	定員	派遣実績				
							H28	H29	H30	H31	R2
明知大サマーキャンプ (韓国語研修)	[韓国] 明知大学校	8月 月上旬	3週間	あり	全学	4	1	0	0	0	
春期海外英語研修	[フィリピン] デラ・サル大学	3月	3週間	あり	全学	10	10	10	9	12	
グローバルプロ 基礎コース (US-JAPAN FORUM)	[アメリカ] カリフォルニア地域 の大学・企業	2月	1週間	なし	全学	数名	1	0	0	1	
グローバルプロ 養成プログラム (US-JAPAN FORUM)	[アメリカ] カリフォルニア地域 の大学・企業	9月	4週間	あり	全学	数名	1	1	0	1	
カリフォルニア・ イノベーション研修 (US-JAPAN FORUM)	[アメリカ] カリフォルニア地域 の大学・企業	9月	9日～ 2週間	あり	全学	数名	2	1	1	0	
シリコンバレー・ アントレプレナー研修 (US-JAPAN FORUM)	[アメリカ] カリフォルニア・ シリコンバレー	毎月	1ヶ月・ 3ヶ月・ 6ヶ月	なし	全学	数名	0	0	0	0	
国際研修 - エネルギーと 持続可能な社会	[アイスランド] アイスランド大学 ほか [スウェーデン] リンネ大学 ほか	9月	9日 (+事前・ 事後研 修複数 回)	あり	全学	12	9	8	8	0	
国際研修 - 貧困と持続可能な 社会	[フィリピン] サンカルロス大学・ NGO	9月	2週間 (+事前・事 後研修 複数 回)	あり	全学	10	5	4	5	8	
国際研修 - デザインと持続可能 な社会	[イタリア] カララ・アカデミー	2～ 3月	3週間 (+事前・事 後研修 複数 回)	あり	全学	10	3		10	0	
国際研修 - ビジネスと持続可能 な社会	[台湾] 高雄師範大学	3月	13日間 (+事前・事 後研修 複数 回)	あり	全学	10	0	5	8	0	



プログラム名	派遣地域・大学	派遣時期	派遣期間	単位認定	参加資格	定員	派遣実績				
							H28	H29	H30	H31	R2
国際研修 - 世界遺産と持続可能な社会	[インドネシア] アイルランガ大学	8～ 9月	2週間 (+事前・事後研修複数回)	あり	全学	10	0	0	6	4	
異文化理解研修	[タイ] サイアム大学	2月	2週間	なし	全学	2	0		0	0	
日韓学生の協働研修 (海外研修)	[韓国] 群山大学校・ 明知大学校	8月	9日 (+国内研修9日)	あり	人社	15	6	7	11	8	
課題解決型国際研修 (ドイツ語)	[ドイツ] ドレスデン工科大学 / ゲーティンステイト ウート	3月	2週間	あり	人社	20	21		14	7	
課題解決型国際研修 (中国語)	[中国] 曲阜師範大学、 西北大学(H28)、 寧波大学(H29)、 西北大学(H30)	3月	2週間	あり	人社	20	9	5	11	13	
課題解決型国際研修 (英語)シンガポール	[シンガポール] カーティン大学(豪) シンガポール校	9月	2週間 (+国内研修)	あり	人社	15	0	18		0	
課題解決型国際研修 (英語)カナダ	[カナダ] オカナガン大学	3月頃	3週間	あり	全学	20	7		0	0	
課題解決型国際研修 (フランス語)	[フランス] 西部カトリック大学	2～3月 8～9月	3週 or 6週	あり	人社	数名	3	2	2	0	
日本語教育実習	[中国] 寧波大学	3月頃	2週間	あり	教育	10	13	7	7	0	
漢文学実地研修	[中国] 国語の教科書に 出てくる場所など (寧波大学)	9月頃 または 3月頃	10日	あり	教育	5	3	9	2	0	
ブアン・プログラム (英語教育実習)	[タイ] タイ国内中学校等 (サイアム大学の仲 介)	1月	2週間	あり	教育	7	7	5	6	6	
ブアン・プログラム (数学教育実習)	[タイ] バンヤピワット運営 大学附属中学校	1月	2週間	あり	教育	4	0	4	4	4	

プログラム名	派遣地域・大学	派遣時期	派遣期間	単位認定	参加資格	定員	派遣実績				
							H28	H29	H30	H31	R2
English Language Institute Iwate Program (語学留学)	[アメリカ] ノース・セントラル・カレッジ	8月	17日間	なし	教育他	20	0	0	0	0	
理工学部国際研修	[カナダ] ブリティッシュ・コロンビア大学 ELI [アメリカ] ドミニカン大学 ELS	8月頃	4週間	あり	工学2年・3年院生	10	7	13	14	3	
ハンバット国立大学校交流研修	[韓国] ハンバット大学校	11月頃	5日間	なし	工学院生	4	11	11	10	10	
将来の農学・獣医学を担うグローバルリーダー養成プログラム (オーバン大学)	[アメリカ] オーバン大学	9月	2週間	あり	農学	3	3	2	3	4	
将来の農学・獣医学を担うグローバルリーダー養成プログラム (サスカチュワン大学)	[カナダ] サスカチュワン大学	9月	3週間	あり	農学	14	14	14	13	13	
海外の森林・林業とフォレスター研修プログラム	[ドイツ] ロッテンブルク大学	9月	10日	あり	農学	10	16	12	13	8	
パデュー大学学生派遣プログラム	[アメリカ] パデュー大学	8月頃	1ヶ月	あり	農学	3	提携終了	提携終了	提携終了	提携終了	
タイ王国国際インターンシップ	[西アジアを除くアジア各地域]日系現地法人	8月頃	2~4週間	あり	工学2年・3年院生	数名	0	0	6	5	
工学研究科研究インターンシップ	[カナダ] サスカチュワン大学ほか	8月頃	2~4週間	あり	工学院生	数名	3	4	3	2	
日本語教育実習インターンシップ	[タイ] サイアム大学	2~3月	2週間	なし	全学	2	0	2	0	1	
連合農学研究科研究インターンシップ	[カナダ] サスカチュワン大学ほか	8月頃	2~4週間	あり	農学院生・連大院生	数名	3	7	4	5	
					計	250	158	151	170	115	

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により全プログラム中止

(報告:国際課)

## 岩手大学外国人留学生地域派遣実績一覧

	派遣先	派遣日程	交流者数	派遣留学生数	出身地別 人数	交流の内容
1	協同組合ありね	7月21日 (火)	数名	1	ベトナム	技能実習生の技能検 定試験補助
2	盛岡国際交流協会	9月25日 (金)	10	1	モンゴル	海外の文 化や暮らし を知り、学ぶ 機会を提供
3	岩手県ふるさと振興部 国際室	11月5日 (木)	-	1	フランス	COVID- 19 対策につ いて、県内 在住の外国 人の声を紹 介
4	社団法人 一誠会	12月4日 (金)		1	インド	サンタクロ スになり、園 児にプレゼ ントを配る
5	社団法人 一誠会	12月14日 (月)	4 クラス	1	インド	小学校で国 際理解の授 業を提供
6	紫波町古館公民館	12月19日 (土)	20	1	スペイン	クリスマスの 話を中心に 国際理解に ついて話を する
7	みどり保育園	12月23 (水)	100	1	スペイン	サンタクロ スになり、園 児にプレゼ ントを配る

8	岩手県立水沢高等学校	2月26日 (金)	25	3	中国、モンゴル、 バングラデシュ	理系留学生との交流
9	陸前高田市観光物産協会	3月6日 (土)、 7日(日)	10	2	バングラデシュ、 モンゴル	陸前高田市地域通訳案内士の口述試験補助、及び、外国人観光客の受入態勢強化に伴う視察と意見交換
			計	12		

## トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム 岩手大学の採択状況

### 平成 26 年度(第1期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
自然科学系、複合・融合系人材コース	4名	3名	2名
新興国コース	1名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	1名	0名	0名
多様性人材コース	3名	0名	0名
計	9名	3名	2名

### 平成 27 年度前期(第2期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
自然科学系、複合・融合系人材コース	2名	2名	1名
新興国コース	1名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	1名	0名	0名
多様性人材コース	0名	0名	0名
計	4名	2名	1名

### 平成 27 年度後期(第3期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
自然科学系、複合・融合系人材コース	3名	3名	1名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	1名	0名	0名
多様性人材コース	1名	0名	0名
計	5名	3名	1名

### 平成 28 年度前期(第4期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	2名	1名	0名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	0名	0名	0名
計	2名	1名	0名

### 平成 28 年度後期(第5期)

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	5名	3名	2名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	0名	0名	0名
計	5名	3名	2名

**平成 29 年度前期(第6期)**

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	1名	1名	1名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	1名	1名	1名
計	2名	2名	2名

**平成 29 年度後期(第7期)**

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	3名	2名	1名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	0名	0名	0名
地域人材コース	5名	5名	5名
計	8名	7名	6名

**平成 30 年度前期(第8期)**

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	2名	1名	1名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	0名	0名	0名
計	2名	1名	1名

**平成 30 年度後期(第9期)**

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	4名	3名	2名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	3名	2名	2名
地域人材コース	4名	3名	3名
計	11名	8名	7名

**令和元年度前期(第10期)**

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	0名	0名	0名
新興国コース	2名	1名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	1名	0名	0名
計	3名	1名	0名

**令和元年度後期(第11期)**

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	2名	2名	1名
新興国コース	1名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	1名	0名	0名
地域人材コース	5名	5名	5名
計	9名	7名	6名

**令和2年度前期(第12期)**

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	1名	1名	1名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	0名	0名	0名
計	1名	1名	1名

**令和2年度後期(第13期)**

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	1名		
新興国コース	2名		
世界トップレベル大学等コース	0名		
多様性人材コース	0名		
計	3名		

新型コロナウイルス感染症の影響により、プログラム中止

**令和3年度前期(第14期)**

申請コース	申請数	書面審査合格者	最終合格者
理系、複合・融合系人材コース	1名	1名	1名
新興国コース	0名	0名	0名
世界トップレベル大学等コース	0名	0名	0名
多様性人材コース	0名	0名	0名
計	1名	0名	0名

(報告:国際課)

岩手大学留学生数(令和2年5月1日現在)

《種別》 ( )は女子で内数

【学部所属】

学 部	正規生			小計	非正規生							小計	合計
	学部生				研究生				特別聴講学生				
	国費	政府	私費		国費	政府	果費	私費	私費	国費	国費		
人文社会科学部			13 (3)	13 (3)	1 (1)			8 (5)	1 (1)			10 (7)	23 (10)
教育学部			2 (2)	2 (2)				4 (4)	1	1 (1)		6 (5)	8 (7)
工学部			1	1									1
理工学部	2 (1)	29 (3)	31 (4)	1			10	2				13	44 (4)
農学部		7 (2)	7 (2)					1				1	8 (2)
合 計	2 (1)	52 (10)	54 (11)	2 (1)			18 (5)	8 (5)	1	1 (1)		30 (12)	84 (23)

【大学院所属】

大 学 院	正規生			小計	非正規生							小計	合計
	学部生				研究生				特別聴講学生				
	国費	政府	私費		国費	政府	果費	私費	私費	国費	国費		
教育学研究科													
総合科学研究科 総合文化学専攻			9 (6)	9 (6)				2 (1)				2 (1)	11 (7)
総合科学研究科 地域創生専攻			7 (2)	7 (2)									7 (2)
総合科学研究科 農学専攻			3	3	2 (2)							2 (2)	5 (2)
総合科学研究科 理工学専攻			20 (9)	20 (9)	1 (1)			2 (1)				3 (2)	23 (11)
工学研究科(M)													
工学研究科(D)	1		11 (5)	12 (5)									12 (5)
理工学研究科(D)	1 (1)		16 (7)	17 (8)									17 (8)
獣医学研究科			1	1									1
総合農学研究科	12 (4)		26 (10)	38 (14)									38 (14)
合 計	14 (5)		93 (39)	107 (44)	3 (3)			4 (2)				7 (5)	114 (49)

【グローバル教育センター所属】

グローバル教育センター	国費		私費		合計
	日本語研修留学生	日本語・日本文化研修留学生	特別聴講学生		
合 計		1	2		3

◆◆留学生総数◆◆

	国費	政府	果費	私費	合計
正 規 生	14 (5)	2 (1)		145 (49)	161 (55)
非 正 規 生	8 (5)			32 (12)	40 (17)
合 計	22 (10)	2 (1)		177 (61)	201 (72)

〔連合農学研究科配属別内訳〕

(岩手大学 11名、他大学配属 27名)

	国費	政府	私費	合計
岩手大学	5 (2)		6 (3)	11 (5)
専攻 畜産学				
弘前大学	2		8 (2)	10 (2)
山形大学	5 (2)		12 (5)	17 (7)
合 計	12 (4)		26 (10)	38 (14)

〔岐阜連合獣医学研究科〕

	国費	政府	私費	合計
岐阜連合獣	2			2

(国籍別:バングラデシュ1、アフガニスタン1)

〔連大の他大学配属分を除いた留学生数〕

174 (63)

23ヶ国1地域 201人

アジア 10ヶ国1地域 184 (66)人				欧州 7ヶ国 10 (5)人				中東米 1ヶ国 1 (0)人		アフリカ 5ヶ国 6 (1)人	
中国	105 (32)	マレーシア	5 (1)	ロシア	2 (1)	ガイアナ	1	ケニア	1		
モンゴル	14 (9)	インド	3 (1)	フランス	2 (2)			ベナン	2 (1)		
韓国	13 (2)	台湾	4 (1)	ドイツ	2 (1)			エチオピア	1		
ベトナム	12 (8)	カンボジア	1	アイスランド	1	北米 0ヶ国 0 (0)人		シエラレオネ	1		
バングラデシュ	13 (5)			ウズベキスタン	1			エジプト	1		
タイ	8 (5)			スペイン	1						
インドネシア	6 (2)			トルクメニスタン	1 (1)						



岩手大学留学生数(令和2年11月1日現在)

《種別》 ( )は女子で内数

【学部所属】

学 部	正規生			小計	非正規生						小計	合計	
	学部生				研究生				特別聴講生				
	国費	政府	私費		国費	政府	県費	私費	私費	国費			私費
人文社会科学部			12 (3)	12 (3)	1 (1)			7 (5)				8 (6)	20 (9)
教育学部			2 (2)	2 (2)					1 (1)	1		2 (1)	4 (3)
工学部			1	1									1
理工学部		2 (1)	29 (3)	31 (4)				10				10	41 (4)
農学部			7 (2)	7 (2)				2 (1)				2 (1)	9 (3)
合 計		2 (1)	51 (10)	53 (11)	1 (1)			19 (6)	1 (1)	1		22 (8)	75 (19)

【大学院所属】

大 学 院	正規生			小計	非正規生						小計	合計	
	学部生				研究生				特別聴講生				
	国費	政府	私費		国費	政府	県費	私費	私費	国費			私費
教育学研究科													
経営科学研究科 総合文化事業部			9 (6)	9 (6)									9 (6)
経営科学研究科 地域創造部			8 (3)	8 (3)									8 (3)
経営科学研究科 農 業 部			2	2	1 (1)							1 (1)	3 (1)
経営科学研究科 理 工 学 部	1		18 (6)	19 (6)	1 (1)		1 (1)					2 (2)	21 (8)
工学研究科(D)	1		8 (4)	9 (4)									9 (4)
理工学研究科(D)	2 (2)		16 (7)	18 (9)									18 (9)
獣医学研究科			1	1									1
連合農学研究科	13 (5)		25 (12)	38 (17)									38 (17)
合 計	17 (7)		87 (38)	104 (45)	2 (2)		1 (1)					3 (3)	107 (48)

【グローバル教育センター所属】

グローバル教育センター	国 費		私 費		合 計
	日本語研修留学生	日本語・日本文化研修留学生	特別聴講生		
合 計					

◆◆留学生総数◆◆

	国 費	政 府	県 費	私 費	合 計
正 規 生	17 (7)	2 (1)		138 (48)	157 (56)
非 正 規 生	4 (3)			21 (8)	25 (11)
合 計	21 (10)	2 (1)		159 (56)	182 (67)

〔連合農学研究科配属別内訳〕

(岩手大学 13名、他大学配属 25名)

	国 費	政 府	私 費	合 計
岩手大学	6 (3)		7 (5)	13 (8)
藤広畜産大学				
弘前大学	2		5 (2)	7 (2)
山形大学	5 (2)		13 (5)	18 (7)
合 計	13 (5)		25 (12)	38 (17)

〔岐阜連合獣医学研究科〕

	国 費	政 府	私 費	合 計
岐阜連合	1			1

(国籍別:バングラデシュ 1)

〔連大の他大学配属分を除いた留学生数〕

157 (58)

21ヶ国 1地域 182 人

アジア		10ヶ国 1地域 170 (62)人		欧州		6ヶ国 6 (4)人		中南米		1ヶ国 1 (0)人		アフリカ		4ヶ国 5 (1)人	
中国	100 (30)	マレーシア	5 (1)	ロシア	1 (1)	ガイアナ	1	ケニア							
モンゴル	14 (9)	インド	3 (1)	フランス	1 (1)			ベナン							2 (1)
韓国	12 (2)	台湾	1	ドイツ	1 (1)										1
ベトナム	12 (8)	カンボジア	1	ウズベキスタン	1			北米	0ヶ国 0 (0)人						1
バングラデシュ	11 (6)			スペイン	1										
タイ	6 (3)			トルクメニスタン	1 (1)										
インドネシア	5 (2)														